

令和 2 年度

和歌山県立高等学校入学者選抜実施要項

和歌山県教育委員会

目 次

I 令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜（全日制課程・定時制課程）実施要項

第1 一般選抜	
1 出願資格	1
2 学科（コース等）及び募集定員	1
3 志願校	1
4 出願受付期間及び場所	1
5 出願手続	2
6 調査書等の作成	4
7 書類の審査	4
8 学力検査等	5
9 定時制課程における成人特別措置	6
10 入学者の選抜	7
11 合格者の発表	8
12 入学資格認定検査	8
13 実施上の留意事項	9
第2 スポーツ推薦	
1 出願資格	10
2 志願校	10
3 出願受付期間及び場所	10
4 出願手続	10
5 学力検査等	11
6 入学者の選抜	12
7 合格者の発表	12
8 実施上の留意事項	12
9 その他の事項	12
第3 特別選抜	
1 出願資格	13
2 特別選抜入学者数	13
3 出願受付期間及び場所	13
4 出願手続	13
5 入学者の選抜	13
6 合格内定の通知	13
7 実施上の留意事項	13
第4 追募集	
1 出願資格	15
2 追募集枠	15
3 出願受付期間及び場所	15
4 出願手続	15
5 学力検査等	16
6 定時制課程における成人特別措置	17
7 入学者の選抜	17
8 合格者の発表	17
9 実施上の留意事項	17
第5 再学力検査	
1 受検資格	18
2 学力検査等	18
3 入学者の選抜	18
4 合格者の発表	18
5 実施上の留意事項	18
別記様式（第1号様式～第13号様式）	19～32
別記申告書様式（第1号様式～第3号様式）	33～35

II 令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜（通信制課程）実施要項

1 設置校	36
2 出願資格	36
3 出願受付期間及び場所	36
4 出願手続	37
5 入学者の選抜	37
6 合格者の発表	37
7 入学資格認定検査	37
8 実施上の留意事項	37
別記様式（第1号様式～第3号様式）	38～40

III 令和2年度和歌山県立高等学校入学志願者調査書等の作成について

1 調査書の作成	41
----------	----

IV 他の都道府県からの高等学校入学志願者等に関する手続について

1 他の都道府県から和歌山県立高等学校を志願する者の手続について	43
2 海外から和歌山県立高等学校を志願する者の手続について	44
3 留意事項	44
<参考> 他府県の公立高等学校を志願する者の手続について	44
別表	45
別記様式（第1号様式、第2号様式）	46～48

V 和歌山県立高等学校入学者選抜学力検査等に係る帰国生徒取扱い

別記様式（第1号様式、第2号様式）	50～51
-------------------	-------

VI 和歌山県立高等学校入学者選抜学力検査得点の簡易開示について

VII 別表

別表1 令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜選考基準	55～61
別表2 令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜の面接・実技検査等	62～66
別表3 令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦実施校、 指定競技スポーツ及び募集枠等	67
別表4 令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦出願条件	68～69
別表5 令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦におけるスポーツ実技検査等	70～73
別表6 令和2年度連携型中高一貫教育校の特別選抜実施方法等	74
別表7 令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜の学校別実施概要（追募集）	75～76

〈付〉

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜日程表等	77～79
-------------------------	-------

※ 本実施要項以外に、令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜に係る内容について、本県教育委員会のホームページ上に掲載する場合があります。

（和歌山県教育委員会ホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500000/>）

I 令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜 (全日制課程・定時制課程) 実施要項

第1 一般選抜

一般選抜は、入学者選抜を実施する募集定員を定めたすべての学科(コース等^{*})で実施する。

なお、各学校の実施内容については、「令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜選考基準」(以下「選抜選考基準」という。)(別表1)のとおりとする。

※ 募集定員を定めたコースや校舎などのことで、別表1のとおりとする。

1 出願資格

出願することができる者は、本人及び保護者(親権者、親権者がいない場合は未成年後見人。以下同じ。)の住所が和歌山県内にあるか、入学日までに和歌山県内にあることとし、次のいずれかに該当するものとする。

なお、定時制課程については、和歌山県内に本人の住所があるか、勤務していること。又は、入学日までに和歌山県内に住所があるか、勤務することが確実にあれば出願することができる。

- (1) 中学校、義務教育学校又はこれに準ずる学校(以下「中学校」という。)を卒業又は令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校前期課程(以下「中学校」に含める。)を修了(以下「卒業」に含める。)又は令和2年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第95条の規定により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

2 学科(コース等)及び募集定員

学科(コース等)及び募集定員は、別に定める。

3 志願校

- (1) 志願者は、一般選抜を実施するすべての学校・学科(コース等)を志願することができる。ただし、出願は1校1課程1学科(コース等)に限る。
- (2) 志願者は、同一校、同一課程に限り、第1志望として出願した学科(コース等)以外の学科(コース等)を第2志望として出願することができる。また、単位制による定時制課程への志願者は、同一校において、昼間の定時制課程と夜間の定時制課程のいずれかを第2志望として出願することができる。

4 出願受付期間及び場所

(1) 出願受付期間

一般出願及び本出願の受付期間は、次のとおりとする。

一般出願	令和2年2月21日(金)	午前9時から午後4時まで
	令和2年2月25日(火)	午前9時から午後3時まで
本出願	令和2年3月3日(火)	午前9時から午後4時まで
	令和2年3月4日(水)	午前9時から午後3時まで

郵送の場合は、「書留」とし、一般出願は令和2年2月18日(火)から2月21日(金)までの消印のあるもの、本出願は令和2年2月27日(木)から3月3日(火)までの消印のあるものに限る

(受検票等の返信用封筒と切手を同封すること)。

なお、郵送の場合は、志願先の高等学校へあらかじめ電話連絡すること。

(2) 出願受付場所

出願は、それぞれ志願先の高等学校で受け付ける。

なお、分校に出願する者はそれぞれの分校で、また、和歌山北高等学校の北校舎及び西校舎、海南高等学校の海南校舎及び大成校舎（以下「校舎別の高等学校」という。）に出願する者は、それぞれの校舎で受け付ける。

また、和歌山市内の高等学校においては、中学校長から提出される一般出願に係る書類を、一会場で受け付ける。実施方法等については別途通知する。

5 出願手続

(1) 一般出願

ア 志願者の手続

入学志願者は、次の書類等を在学又は出身校の中学校長に提出すること。ただし、中学校在学及び卒業の者以外の志願者については、次の書類のほかに高等学校入学資格を証する書類を添付し、直接、志願先の高等学校長に提出すること。

なお、他の都道府県から和歌山県立高等学校を志願する場合は、「IV 他の都道府県からの高等学校入学志願者等に関する手続について」による。

(ア) 入学願（別記第1号様式）

(イ) 受検票（別記第2号様式）

(ウ) 申告書

和歌山北高等学校スポーツ健康科学科、和歌山高等学校、箕島高等学校普通科（スポーツコース）のいずれかの学校を志願する者は、それぞれの学校の決められた申告書を提出すること。

- ・和歌山北高等学校スポーツ健康科学科（別記申告書第1号様式）（第2志望の場合も提出）
- ・和歌山高等学校（別記申告書第2号様式）
- ・箕島高等学校普通科（スポーツコース）（別記申告書第3号様式）（第2志望の場合も提出）

(エ) 入学考查手数料

本出願時に、入学願の所定の欄に、和歌山県証紙（全日制課程2,200円、定時制課程950円）をはることを要する。

イ 中学校長の手続

中学校長は、第5項第1号アの書類の記載事項に誤りのないことを確かめ、一般出願者報告書（別記第3号様式）を、学校・課程・学科（コース等）別に志願先の高等学校長に（分校についてはそれぞれの分校に、校舎別の高等学校についてはそれぞれの校舎に）提出すること。

ウ 高等学校長の手続

高等学校長は、中学校長から提出された一般出願者報告書により志願状況（中学校在学及び卒業の者以外の志願者も含める。）を課程・学科（コース等）別に集計し、別途指定する方法で（県）学校教育局県立学校教育課長に報告すること。

エ 注意事項

(ア) 入学願について

第3項第2号による志願者は、入学願の「志願学科（コース等）」の欄に志望順位別に学科（コース等）名を、定時制課程については昼間、夜間の別も記入すること。また、校舎別の高等学校普通科については、「志願学科（コース等）」の欄に、「学科名（校舎名）」を記入すること。

令和2年3月中学校卒業見込みの者以外の志願者は、入学願の「卒業後の状況」の欄に最終学校卒業後の履歴等を記入すること。

(イ) 受検票について

分校への志願者は、その志願先の分校名を受検票の「受検場所」の欄に記入し、校舎別の高等学校普通科への志願者は、その志願先の校舎名を受検票の「志願学科（コース等）」の欄に、「学科名（校舎名）」を記入すること。

オ 志願状況の発表

(ア) (県) 学校教育局県立学校教育課及び各市町村教育委員会において、一般出願に係る志願状況一覧表を令和2年2月26日（水）午前9時に掲示する。

なお、掲示場所については、(県) 学校教育局県立学校教育課及び各市町村教育委員会に問い合わせること。

(イ) 中学校長には、各市町村教育委員会を通じて通知する。

(2) 志願先の変更

ア 志願者は、本出願にあたって、一般出願の際に提出した志願先の学校や学科（コース等）を、1回に限り変更することができる（同一校における学科（コース等）を変更しようとする者及び第2志望を変更しようとする者も含む。）。

イ 志願先を変更しようとする者は、次の（ア）～（ウ）の変更手続を行うこと。

（ア）中学校長に申し出て、入学願と受検票の返却を受ける。

（イ）入学願と受検票を新たに作成する。

（ウ）入学願と受検票を中学校長に再提出する。

なお、第5項第1号アのただし書きに該当する者については、令和2年2月26日（水）から令和2年3月2日（月）まで（各日とも午前9時から午後4時まで）に、一般出願時に書類を提出した高等学校長に願い出て指示を受けること。

(3) 本出願

ア 志願者の手続

（ア）志願者は、志願先の変更手続をした場合を除き、一般出願の際に提出した志願先の学校・学科（コース等）以外に本出願をすることができない。

（イ）一家転住などやむを得ない事情で一般出願できなかつた志願者は、その理由を入学願の裏面に記載し、受検票とともに中学校長に提出すること。

（ウ）第5項第1号アのただし書きに該当する者で志願先を変更した者は、第5項第1号アに準じ、書類を直接志願先の高等学校長に提出すること。

イ 中学校長の手続

中学校長は、志願者から提出された書類の記載事項に誤りのないことと、入学願の所定の欄に和歌山県証紙（全日制課程2,200円、定時制課程950円）がはられていることを確かめるとともに、志願者に係る次の書類を作成し、入学願、受検票他、必要書類とあわせて志願先の高等学校長に提出すること。

(ア) 令和2年度和歌山県立高等学校入学志願者調査書（以下「調査書」という。）（別記第4号様式）

平成26年3月以前の中学校卒業生については、調査書に代えて中学校卒業証明書を提出すること。

(イ) 副申書（別記第5号様式）

調査書の「欠席等の状況」及び「健康の状況に関する特記事項」等、調査書に記載されていないその他の事項について、特別の事情のある場合は、中学校長は副申書を提出することができる。

(ウ) 学力検査等特別措置願（別記第6号様式）

聴覚等に障害のある志願者や日本語の理解が十分でない外国人等の志願者で、学力検査等において特別の措置を必要とする場合、志願先の高等学校長に提出すること。

ウ 高等学校長の手続

(ア) 高等学校長は、提出された書類を確認し、受け付けるとともに、提出された受検票に受検番号を付して、当該中学校長を通じ、又は直接、出願者に交付すること。

(イ) 高等学校長は、志願状況を課程・学科（コース等）別に集計し、別途指定する方法で（県）学校教育局県立学校教育課長に報告すること。

(ウ) 高等学校長は、提出された学力検査等特別措置願の写しを（県）教育長に提出し、協議のうえ、適切な措置を講じること。

6 調査書等の作成

(1) 調査書等作成委員会

中学校長は、調査書、副申書等の作成にあたっては、厳正、公平かつ適正を期するため、調査書等作成委員会を組織し、その審議を経るものとする。

(2) 調査書等の作成

調査書等の具体的な作成要領は、「Ⅲ 令和2年度和歌山県立高等学校入学志願者調査書等の作成について」による。

7 書類の審査

(1) 調査書等審査委員会

ア 高等学校長は、審査の厳正、公平かつ適正を期するため、調査書等審査委員会を組織すること。

イ 調査書等審査委員会は、令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜実施要項（以下「実施要項」という。）に基づいて提出された書類について審査すること。

(2) 高等学校長は、中学校長から提出された書類の中に、不明な事項等がある場合には、当該中学校長に説明又は訂正を求めることができる。ただし、訂正を求めた場合には、（県）教育長にその概要について文書で報告しなければならない。

8 学力検査等

出願者は、令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜学力検査（以下「学力検査」という。）を受けるものとする。また、高等学校長は、学力検査のほかに面接（口頭による検査を含む。）、作文又は小論文、実技（プレゼンテーション等を含む。）による検査（以下「面接・実技検査等」という。）を実施することができる。

ただし、令和2年3月中学校卒業見込みの者以外の出願者には、学力検査終了後、別途、面接を実施するものとする。

各学校の実施内容については、「選抜選考基準」（別表1）及び「令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜の面接・実技検査等」（別表2）のとおりとする。

(1) 学力検査と配点

ア 学力検査

学力検査の教科は、国語、社会、数学、理科及び外国語（英語（リスニングテストを含む。））とする。

リスニングテストは、外国語（英語）の検査時間の冒頭で校内放送設備を用いて一斉に行う。

イ 配点

各教科100点満点とする。ただし、高等学校長は、学科（コース等）の特色を考慮し、特定の教科について2倍を超えない範囲で傾斜配点することができる。

なお、傾斜配点を行う学校については、「選抜選考基準」（別表1）のとおりとする。

(2) 検査期日と日程

学力検査等の期日及び日程は、次のとおりとし、受検者は、学力検査当日午前9時までに検査場所に集合すること。

ア 期日 学力検査 令和2年3月10日（火）

面接・実技検査等 令和2年3月11日（水）

イ 日程 次の日程により実施する。

第1日（学力検査）

9:00	9:25	10:15	10:30	11:20	11:35	12:25	13:10	14:00	14:15	15:05
点呼 入場	国語	休憩	社会	休憩	数学	(昼食)	理科	休憩	外国語 (英語)	

第2日（面接・実技検査等）

9:00

面接・実技検査等

(注) 実施時間帯は、実施校により異なるため、当該高等学校長の指示による。

(3) 検査場所

学力検査、面接・実技検査等は、原則として出願先高等学校（分校についてはそれぞれの分校、校舎別の高等学校についてはそれぞれの校舎）で行う。

(4) 検査当日の注意

- ア 受検者は、必ず受検票及び筆記用具を持参し、学力検査受検中は、受検票を机の上に置くこと。
- イ 受検者がやむを得ず遅刻した場合、当該受検者は、出願先高等学校長の許可を得たうえで検査場に入ること。
- ウ 面接・実技検査等の実施時間帯は、出願先高等学校長の指示するところによるので留意すること。
- エ 実技検査を受ける者は、出願先高等学校長の指示に従い、受検できる服装等を準備すること。
- オ 受検者がやむを得ない事情で受検できなくなった場合、当該受検者の在学又は出身校の中学校長は、出願先の高等学校長に速やかにその旨を報告するとともに、再学力検査を希望する場合は、受検できなかった理由が正当であることを証明する書類（医師の診断書等）を添え、令和2年3月17日（火）正午までに出願先の高等学校長に再学力検査受検願（別記第7号様式その1）を届け出るものとする。また、届出を受けた高等学校長は、事情内容を審査し、正当と認められるときは、再学力検査受検許可書（別記第7号様式その2）を交付し、その受検を許可するものとする。

9 定時制課程における成人特別措置

(1) 対象者及び内容

- ア 満20歳以上の志願者（平成12年4月1日以前に生まれた者）で、定時制課程成人特別措置を希望する者
- イ 作文及び面接による検査を行う。
- ウ 調査書の提出を省略することができる。

(2) 申請手続

この特別措置の適用を受けようとする者は、一般出願の際、定時制課程成人特別措置申請書（別記第8号様式）に中学校卒業証明書又は高等学校入学資格を証する書類を添付して、直接、志願先の高等学校長に提出すること。ただし、志願先の変更はできない。

(3) 検査期日と日程

検査期日は、学力検査と同一日とし、日程は、次のとおりとする。

9:00	9:25	10:15	10:30
点呼入場	作文	休憩	面接

(4) 成人特別措置による入学者数

別に定める募集定員の10%を標準とし、募集定員内で出願状況に応じて当該高等学校長が決定する。

(5) 検査場所

出願先高等学校で行う。

(6) 検査当日の注意

第8項第4号に準ずるものとする。

(7) 入学願等の交付

入学願、受検票、定時制課程成人特別措置申請書については、（県）学校教育局県立学校教育課

及び定時制課程を有する高等学校において交付する。

10 入学者の選抜

高等学校長は、出願者が募集定員を超過するか否かにかかわらず、次の要領によって、厳正、公平かつ適正に入学者の選抜を行うこと。

(1) 合否判定の原則

合否の判定は、中学校長から提出された調査書等（又はこれに相当する書類）及び学力検査の成績に基づいて行う。ただし、面接・実技検査等を実施した学校・学科（コース等）にあつては、その成績も判定資料とする。

なお、各学校の一般選抜における入学者の選抜基準は、「選抜選考基準」（別表1）のとおりとする。

(2) 判定資料の評価

ア 調査書

調査書の「評定」、「特別活動に関する特記事項」、「校内外の活動等に関する特記事項」、「観点別学習状況」等にその他の記載内容を加味し、総合的に評価すること。

(ア) 評定

次の方法で算出し、計180点満点とする。ただし、調査書に記載されている全教科の評定を対象として、2倍を超えない範囲で傾斜評価を実施することができる。傾斜評価を行う学校については、「選抜選考基準」（別表1）のとおりとする。

なお、傾斜評価を実施する学科（コース等）にあつては、傾斜評価後の合計を満点とすること。

a 第1・第2学年の評定

第1・第2学年の9教科の5段階評定の合計を算出する。 (90点満点)

b 第3学年の評定

第3学年の9教科の5段階評定の合計を2倍して算出する。 (90点満点)

(イ) 特別活動及び校内外の活動等

「特別活動に関する特記事項」、「校内外の活動等に関する特記事項」、「観点別学習状況」及びその他の記載内容を総合的に評価すること。

イ 学力検査の成績

学力検査実施教科は各教科100点満点とし、計500点満点とする。ただし、傾斜配点を実施する学科（コース等）にあつては、傾斜配点後の合計を満点とすること。

ウ 面接・実技検査等の成績

(ア) 面接（口頭による検査を含む。）

段階的に評価する。

(イ) 作文又は小論文、実技（プレゼンテーション等を含む。）による検査

検査結果を適切に点数化して評価する。

エ その他の資料

中学校長から副申書等の提出があつた場合は、その記載内容に留意すること。

(3) 合否判定の手順について

次のア～エの各段階順に判定していくものとし、第2志望を認める学校にあつては、初めに第1志望の者を対象として第2段階までの判定を行い、次に第2段階まで合格予定者にならなかった者にスポーツ推薦で合格しなかった者及び第2志望の者を加えて、第3段階の判定を行うものとする。

なお、受検者の数が一般選抜募集枠（以下「募集枠」という。）に満たない場合は、第1段階、第2段階に示した人数の割合を、いずれも全受検者に対する割合としたうえで、合否を判定するものとする。ただし、出願者が少人数のため、各段階順による判定が困難な場合は、前号判定資料の評価に基づき、総合的に判定することができる。

ア 第1段階

全受検者のうち、次の（ア）、（イ）及び、面接・実技検査等を実施した場合は（ウ）のいずれかにおいて、それぞれの条件を満たす者を合格予定者とする。ただし、第1段階での合格予定者数は、募集枠の80%を上限とし、80%を超えた場合は、（ア）～（ウ）をそれぞれの割合（募集枠に対する割合）が保たれるよう減じることにより調整するものとする。

（ア）「調査書」の記載内容が優れた者で「学力検査の成績」が募集枠内にある者のうち、「選抜選考基準」（別表1）に示した割合内にある者。ただし、面接・実技検査等を実施した場合は、その成績が著しく下位の者を除く。

（イ）「学力検査の成績」が優れた者で「評定」が募集枠内にある者のうち、「選抜選考基準」（別表1）に示した割合内にある者。ただし、面接・実技検査等を実施した場合は、その成績が著しく下位の者を除く。

（ウ）「面接・実技検査等の成績」が優れた者で「評定」及び「学力検査の成績」が募集枠内にある者のうち、「選抜選考基準」（別表1）に示した割合内にある者。

イ 第2段階

第1段階における合格予定者数が募集枠の80%に満たない場合は、第1段階の（ア）～（ウ）を同じ割合（募集枠に対する割合）が保たれるよう増加させることにより、合格予定者数が募集枠の80%になるまで調整する。

ウ 第3段階

第1段階及び第2段階の合格予定者を除いたすべての受検者に、スポーツ推薦で合格しなかった者及び第2志望の者を加え、「調査書」及び「学力検査の成績」並びにその他の資料や面接・実技検査等を実施したときの成績も含め、学科（コース等）の特色を考慮しながら総合的に判定し、合格予定者とする。ただし、用いる判定資料はこれらの受検者に共通のものとする。

エ 第4段階

第3段階において、募集枠までを合格予定者としたうえ、更に、全受検者について総合的な観点から検討し、最終的に合格者を決定する。

11 合格者の発表

令和2年3月18日（水）午前10時に各検査場所において一斉に掲示する。

12 入学資格認定検査

学校教育法施行規則第95条第5号の規定による高等学校入学資格認定検査については、令和2年2月6日（木）に志願先の高等学校で行う。受検希望者は、令和2年1月31日（金）正午までに、志願

先の高等学校長に願い出ること。

なお、入学資格認定検査の実施方法については、志願先の高等学校長が定めるものとする。

13 実施上の留意事項

- (1) 中学校長は、在学者又は出身者が本人の能力、適性、興味及び関心等に応じて、志願校・志願学科（コース等）の選定をするよう、適切な進路指導を行うこと。
- (2) 高等学校長は、学力検査等が適切に行われるよう、事前に十分準備しておくこと。
- (3) 中学校長は、高等学校長に提出した調査書等の内容等について、一切漏えいすることのないよう、管理に慎重を期するとともに、関係職員を厳重に監督しなければならない。また、高等学校長は、合否判定の経過及び結果等の状況並びに学力検査等の結果及び中学校長から提出された調査書等の内容等について、一切漏えいすることのないよう、管理に慎重を期するとともに、関係職員を厳重に監督しなければならない。
- (4) 高等学校長は、入学前に行う合格者及び保護者への諸連絡について、合格発表日とは別に日を定めて行うこと。
- (5) 中学校長は、合格者の生徒健康診断票（歯の検査票を含む。）を令和2年3月31日（火）までに、進学先の高等学校長に提出すること。
なお、中学校において生徒健康診断票を保存している過年度卒業生（平成27年3月～平成31年3月中学校卒業生）についても、同様に提出すること。
- (6) 第8項の実施方法については、高等学校長に別途通知する。
- (7) 実施要項に定めるもののほか、必要な事項は、高等学校長に別途通知する。

第2 スポーツ推薦

スポーツ推薦は、県教育委員会の指定を受けた高等学校で実施する。

なお、指定する高等学校、競技スポーツ種目及び募集枠については、「令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦実施校、指定競技スポーツ及び募集枠等」（別表3）のとおりとする。

1 出願資格

- (1) 本人及び保護者（親権者、親権者がいない場合は未成年後見人。以下同じ。）の住所が和歌山県内にあるか、入学日までに和歌山県内にあることとする。

また、第1第1項に準ずる者のうち、平成31年4月から令和2年3月までの期間に卒業又は卒業見込みの者とし、かつ、次号の条件を満たすものとする。

- (2) 次のア及びイの条件を満たす者で、中学校長の推薦を得たものとする。

ア 特別活動及び校内外の活動等において優れた点が見られ、生活態度が良好であること。

イ スポーツ推薦を実施する高等学校が定める「令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦出願条件」（別表4）に適合すること。

2 志願校

- (1) 志願者は、スポーツ推薦を実施するすべての学校・学科（コース等）を志願することができる。ただし、出願は1校1課程1学科（コース等）に限る。

- (2) 志願者は、同一校、同一課程に限り、第1志望として出願した学科（コース等）以外の学科（コース等）を一般選抜の第2志望として出願することができる。

3 出願受付期間及び場所

第1第4項に準ずる。

4 出願手続

- (1) 一般出願

ア 志願者の手続

入学志願者は、次の書類等を在学する中学校長に提出すること。

なお、他の都道府県から和歌山県立高等学校を志願する場合は、「IV 他の都道府県からの高等学校入学志願者等に関する手続について」による。

(ア) スポーツ推薦入学願（別記第9号様式）

(イ) 受検票（別記第2号様式）

(ウ) 入学考査手数料

スポーツ推薦入学願の所定の欄に、和歌山県証紙（全日制課程2,200円）をはることに。

イ 中学校長の手続

中学校長は、第4項第1号アの書類の記載事項に誤りのないことを確かめ、一般出願者報告書（別記第3号様式）を、学校・学科（コース等）別に志願先の高等学校長に（校舎別の高等学校についてはそれぞれの校舎に）提出すること。

ウ 高等学校長の手続

高等学校長は、中学校長から提出された一般出願者報告書により志願状況（中学校在学の者以外の志願者も含める。）を学科（コース等）別に集計し、別途指定する方法で（県）学校教育局県立学校教育課長に報告すること。

エ 注意事項

(ア) スポーツ推薦入学願について

第2項第2号による志願者は、スポーツ推薦入学願の「志願学科（コース等）」の欄に志望順位別に学科（コース等）名を記入すること。また、校舎別の高等学校普通科については、「志願学科（コース等）」の欄に、「学科名（校舎名）」を記入すること。

(イ) 受検票について

校舎別の高等学校普通科への志願者は、その志願先の校舎名を受検票の「志願学科（コース等）」の欄に、「学科名（校舎名）」を記入すること。

(ウ) 志願先の変更等について

第1第5項第2号に基づく志願先の変更及び第1第5項第3号ア（イ）による本出願からの出願はできない。

(2) 本出願

ア 中学校長の手続

中学校長は、志願者から提出された書類の記載事項に誤りのないことと、スポーツ推薦入学願の所定の欄に和歌山県証紙（全日制課程2,200円）がはられていることを確かめるとともに、志願者に係る次の書類（作成は第1第5項第3号イに準じて行う。）を作成し、スポーツ推薦入学願、受検票他、必要書類とあわせて志願先の高等学校長に提出すること。

(ア) スポーツ推薦書（別記第10号様式）

(イ) 調査書（別記第4号様式）

(ウ) 副申書（別記第5号様式）

(エ) 学力検査等特別措置願（別記第6号様式）

イ 高等学校長の手続

第1第5項第3号ウに準じて行う。

5 学力検査等

出願者は、学力検査及びスポーツ実技検査等を受けるものとする。

なお、スポーツ実技検査等については、「令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦におけるスポーツ実技検査等」（別表5）のとおりとする。

(1) 検査期日と日程

学力検査等の期日及び日程は、次のとおりとし、受検者は、学力検査当日午前9時までに検査場所に集合すること。

ア 期日 学力検査 令和2年3月10日（火）

スポーツ実技検査等 令和2年3月11日（水）

イ 日程 次の日程により実施する。

第1日（学力検査）

9:00	9:25	10:15	10:30	11:20	11:35	12:25	13:10	14:00	14:15	15:05
点呼 入場	国語	休憩	社会	休憩	数学	(昼食)	理科	休憩	外国語 (英語)	

第2日（スポーツ実技検査等）

9:00

スポーツ実技検査等

（注）実施時間帯は、実施校により異なるため、当該高等学校長の指示による。

(2) 検査場所

学力検査、スポーツ実技検査等は、原則として出願先高等学校で行う。

ただし、和歌山北高等学校普通科に出願した者のスポーツ実技検査等については、和歌山北高等学校の西校舎で行う。

(3) 検査当日の注意

ア 受検者は、必ず受検票及び筆記用具を持参し、学力検査受検中は、受検票を机の上に置くこと。

イ 受検者がやむを得ず遅刻した場合、当該受検者は、出願先高等学校長の許可を得たうえで検査場に入ること。

ウ スポーツ実技検査等の実施時間帯は、出願先高等学校長の指示するところによるので留意すること。

エ スポーツ実技検査を受ける者は、出願先高等学校長の指示に従い、受検できる服装等を準備すること。

オ 受検者がやむを得ない事情で受検できなくなった場合は、第1第8項第4号オに準ずる。

6 入学者の選抜

(1) 高等学校長は、学力検査、スポーツ実技検査等の結果及びスポーツ推薦書、調査書等を総合して、厳正、公平かつ適正に入学者の選抜を行うこと。

(2) スポーツ推薦で合格しなかった者は、第1第10項第3号に準じ、一般選抜において合否を判定するものとする。

7 合格者の発表

令和2年3月18日（水）午前10時に各検査場所において一斉に掲示する。また、高等学校長は、選考結果通知書（別記第11号様式）を中学校長に送付するものとする。ただし、選考結果通知書は、各高等学校で作成すること。

8 実施上の留意事項

第1第13項に準ずる。

9 その他の事項

(1) 中学校長は、スポーツ推薦にあたり、厳正、公平かつ適正を期するため、推薦委員会を設けること。

(2) 高等学校長は、スポーツ実技検査等の円滑な実施と選考の厳正、公平かつ適正を期するため、スポーツ推薦選抜委員会を設けること。

(3) 前各項のほか、スポーツ推薦に関し必要な事項は、「第1 一般選抜」各項の規定を準用する。

第3 特別選抜

特別選抜は、連携型中高一貫教育校（南部高等学校龍神分校）で実施する。

1 出願資格

特別選抜に出願できる者は、田辺市立龍神中学校を令和2年3月に卒業見込みの者とする。

2 特別選抜入学者数

募集定員に対する特別選抜枠の割合は、50%程度とする。

3 出願受付期間及び場所

出願受付期間は、次のとおりとし、志願先の連携型中高一貫教育校で受け付ける。

令和2年2月4日（火）	午前9時から午後3時まで
-------------	--------------

4 出願手続

(1) 志願者の手続

特別選抜志願者は、次の書類等を中学校長に提出すること。

ア 入学願（別記第12号様式）

イ 受検票（別記第2号様式）

ウ 入学考査手数料

入学願の所定の欄に、和歌山県証紙（全日制課程2,200円）をはること。

(2) 中学校長の手続

中学校長は、前号の書類の記載事項に誤りのないことと、入学願の所定の欄に和歌山県証紙（全日制課程2,200円）がはられていることを確かめ、高等学校長に提出すること。

(3) 高等学校長の手続

第1第5項第3号ウに準じて行う。

5 入学者の選抜

(1) 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、学力検査及び調査書によることなく、面接等、当該高等学校が実施する簡便な方法により行う。

なお、選抜方法については、「令和2年度連携型中高一貫教育校の特別選抜実施方法等」（別表6）のとおりとする。

(2) 実施日時及び場所

ア 日時 令和2年2月7日（金） 午前9時から

イ 場所 南部高等学校龍神分校

6 合格内定の通知

高等学校長は、選考結果通知書（別記第11号様式）を中学校長（又は委任を受けた者）に、令和2年2月14日（金）午前10時に当該高等学校において手渡すものとする。ただし、選考結果通知書は、当該高等学校で作成すること。

なお、合格者の発表は、令和2年3月18日（水）午前10時に特別選抜実施場所において行う。

7 実施上の留意事項

(1) 高等学校長は、提出された受検票に受検番号を付して、中学校長を通じ、出願者に交付すること。

(2) 中学校長は、合格者の生徒指導要録の写し及び生徒健康診断票（歯の検査票を含む。）を令和2

年3月31日（火）までに、高等学校長に提出すること。

(3) 前各項のほか、特別選抜に関し必要な事項は、「第1 一般選抜」各項の規定を準用する。

第4 追募集

追募集は、合格者が募集定員に満たない学科（コース等）で実施する。

1 出願資格

出願資格は、第1第1項に定めるとおりとする。ただし、既に和歌山県内の公立高等学校に合格している者、特別支援学校高等部に進学が決定している者及び再学力検査の受検を許可されている者を除く。

2 追募集枠

追募集枠の通知は、次の各号により行う。

- (1) (県) 学校教育局県立学校教育課及び各市町村教育委員会において、追募集枠一覧表を令和2年3月18日（水）午後2時に掲示する。

なお、掲示場所については、(県) 学校教育局県立学校教育課及び各市町村教育委員会に問い合わせること。

- (2) 中学校長には、各市町村教育委員会を通じて通知する。

3 出願受付期間及び場所

出願受付期間は、次のとおりとし、それぞれ志願先の高等学校（分校についてはそれぞれの分校、校舎別の高等学校についてはそれぞれの校舎）で受け付ける。

令和2年3月24日（火）	午前9時から午後4時まで
--------------	--------------

4 出願手続

- (1) 志願者の手続

入学志願者は、次の書類等を在学又は出身校の中学校長に提出すること。ただし、中学校在学及び卒業の者以外の志願者については、次の書類のほかに高等学校入学資格を証する書類を添付し、直接、志願先の高等学校長に提出すること。

ア 入学願（別記第13号様式）

イ 受検票（別記第2号様式）

ウ 申告書（別記申告書第3号様式）

箕島高等学校普通科（スポーツコース）を志願する者のみ提出すること。

エ 入学考査手数料

入学願の所定の欄に、和歌山県証紙（全日制課程2,200円、定時制課程950円）をはること。

- (2) 中学校長の手続

中学校長は、前号の書類の記載事項に誤りのないことと、入学願の所定の欄に和歌山県証紙（全日制課程2,200円、定時制課程950円）がはられていることを確かめるとともに、調査書（別記第4号様式）及び必要に応じて副申書（別記第5号様式）、学力検査等特別措置願（別記第6号様式）を作成し、入学願、受検票他、必要書類とあわせて志願先の高等学校長に（分校についてはそれぞれの分校に、校舎別の高等学校についてはそれぞれの校舎に）提出すること。

- (3) 高等学校長の手続

第1第5項第3号ウに準じて行う。

(4) 注意事項

ア 入学願について

第1第3項第2号により志願する者は、入学願の「志願学科（コース等）」の欄に志望順位別に学科（コース等）名を、定時制課程については昼間、夜間の別も記入すること。また、校舎別の高等学校普通科については、「志願学科（コース等）」の欄に、「学科名（校舎名）」を記入すること。

令和2年3月中学校卒業見込みの者以外の志願者は、入学願の「卒業後の状況」の欄に最終学校卒業後の履歴等を記入すること。

イ 受検票について

分校への志願者は、その出願先の分校名を受検票の「受検場所」の欄に記入し、校舎別の高等学校普通科への志願者は、その志願先の校舎名を受検票の「志願学科（コース等）」の欄に、「学科名（校舎名）」を記入すること。

5 学力検査等

出願者は、令和2年度和歌山県立高等学校入学者追募集学力検査（以下「追学力検査」という。）及び面接を受けるものとする。また、高等学校長は、追学力検査及び面接のほかに作文又は小論文、実技による検査（以下「実技検査等」という。）を実施することができる。

ただし、令和2年3月中学校卒業見込みの者以外の出願者には、追学力検査、面接、実技検査等終了後、別途、面接を実施するものとする。

各学校の実施内容については、「令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜の学校別実施概要（追募集）」（別表7）のとおりとする。

(1) 追学力検査と配点

ア 追学力検査

総合問題とする。総合問題の対象教科は、国語、社会、数学、理科及び外国語（英語）とする。

イ 配点

総合問題は100点満点とする。

(2) 検査期日と日程

追学力検査等の期日及び日程は、次のとおりとし、受検者は、追学力検査当日午前9時までに検査場所に集合すること。

ア 期日 令和2年3月26日（木）

イ 日程 次の日程により実施する。

9:00	9:25	10:25	10:40
点呼入場	追学力検査 (総合問題)	休憩	面接、実技検査等

(3) 検査場所

追学力検査、面接、実技検査等は、原則として出願先高等学校（分校についてはそれぞれの分校、校舎別の高等学校についてはそれぞれの校舎）で行う。

(4) 検査当日の注意

ア 受検者は、必ず受検票及び筆記用具を持参し、追学力検査受検中は、受検票を机の上に置くこと。

イ 受検者がやむを得ず遅刻した場合、当該受検者は、出願先高等学校長の許可を得たうえで検査場に入ることに。

- ウ 面接、実技検査等の実施時間帯は、出願先高等学校長の指示するところによるので留意すること。
- エ 実技検査を受ける者は、出願先高等学校長の指示に従い、受検できる服装等を準備すること。

6 定時制課程における成人特別措置

第1第9項に準じて行う。

7 入学者の選抜

高等学校長は、追学力検査、面接等の結果及び調査書等を総合して、厳正、公平かつ適正に入学者の選抜を行うこと。

8 合格者の発表

令和2年3月30日（月）午前10時に各検査場所において一斉に掲示する。

9 実施上の留意事項

- (1) 中学校長は、合格者の生徒健康診断票（歯の検査票を含む。）を令和2年4月1日（水）までに、進学先の高等学校長に提出すること。
なお、中学校において生徒健康診断票を保存している過年度卒業生（平成27年3月～平成31年3月中学校卒業生）についても、同様に提出すること。
- (2) 高等学校長は、入学前に行う合格者及び保護者への諸連絡については、受検者等に十分配慮して行うこと。
- (3) 前各項のほか、追募集に関し必要な事項は、「第1 一般選抜」各項の規定を準用する。

第5 再学力検査

再学力検査は、一般選抜で再学力検査受検許可書を交付した高等学校において、追募集と同期日、同日程で実施する。

1 受検資格

一般選抜に出願し、第1第8項第4号オにより、再学力検査受検許可書の交付を受けた者とする。

2 学力検査等

第4第5項に準じて行う。

3 入学者の選抜

第1第10項及び第4第7項に準じて行い、再学力検査の受検者が有利又は不利になることのないよう十分配慮すること。

4 合格者の発表

第4第8項に準じて行う。

5 実施上の留意事項

前各項のほか、再学力検査に関し必要な事項は、「第4 追募集」各項の規定を準用する。

別記第1号様式（第1第5項関係）

（裏）

一般出願できなかった場合、その理由を記入すること。（第1第5項第3号ア（イ）関係）

学校長等副申（上記に記載した場合のみ記入すること。）

令和 年 月 日

学校名

校長氏名



(表)

受 検 票	
※ 受 検 番 号	受 検 場 所 高等学校（ 分校）
	志願学科（コース等）
(ふりがな) 氏 名	
生 年 月 日	平 成 年 月 日 生
現 住 所	
学 校 名	学 校
卒 業 年 月 日	令 和 年 月 日 平 成 年 月 日 卒 業 見 込 み 卒 業
備 考	※ 受 付 印

(注) ※印は、高等学校において記入すること。

(裏)

受検上の留意事項

- 1 受検場所へは、時間にゆとりをもって行き、途中、交通事故などに十分注意する。
- 2 遅刻の理由その他について、正当と認められる場合はそれ以後受検することができるので、万一遅刻する場合は、あらかじめ高等学校校長に届けておき到着後受検したい旨を申し出る。
- 3 検査前に受検上の注意事項の説明があるので、よく聴いて間違いないようにする。
- 4 受検票は、学力検査受検中必ず机の上に置いておく。
- 5 問題冊子、解答用紙とも必ず受検番号を記入する。
- 6 どの教科を受検する場合でも机の上には鉛筆（シャープペンシルも可）等の筆記用具だけを用意する。
- 7 問題の印刷が悪くてわからないときは、黙って手を挙げ、許可を受けてから質問する。ただし、問題の内容については、質問できない。
- 8 面接を受ける場合、受検票は、面接開始時に面接委員に提示する。

特別選抜日時	令和2年2月7日(金)午前9時から
一般選抜日時 スポーツ推薦日時	学力検査 令和2年3月10日(火)午前9時から 面接・実技検査等 令和2年3月11日(水)
追募集日時	令和2年3月26日(木)午前9時から

令和2年度和歌山県立高等学校入学志願者調査書

受検番号	
------	--

記入責任者氏名

志 願 者				各 教 科 等 の 学 習 の 記 録											
(ふりがな) 氏名	平成 年 月 日 生			性別	教 科	観点別学習状況			評 定			学年	総合的な学習の時間の記録		
						観 点	学 年		学 年						
							1	2	3	1	2				3
現住所					国 語	①							1		
						②									
						③									
						④									
						⑤									
卒業 令和 年 月 日 卒業見込み 平成 年 月 日 卒業					社 会	①						2			
編入学 転入学 令和 年 月 日 編入学 平成 年 月 日 転入学						②									
						③									
						④									
欠 席 等 の 状 況				数 学	①						3				
区分 学年	欠席 日数	備 考			②										
					③										
					④										
1				理 科	①						特別活動に関する特記事項				
2					②										
3					③										
健康の状況に関する特記事項				音 楽	①						校内外の活動等に関する特記事項				
					②										
					③										
					④										
				総 合 所 見				美 術	①						部活動等
②															
③															
④															
				保 健 体 育	①						ボランティア活動等				
					②										
					③										
					④										
				技 術 ・ 家 庭	①						資格・特技等				
					②										
					③										
					④										
				外 国 語	①										
					②										
					③										
					④										
				合 計											

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

_____ 学校 校長氏名 _____ 印

副 申 書

令和 年 月 日

和歌山県立 高等学校長 様

学 校 名

校 長 氏 名

印

志願者氏名 _____ 平成 年 月 日生

志願学科（コース等）名 _____

上記の志願者について、下記のとおり副申します。

記

学力検査等特別措置願

令和 年 月 日

和歌山県立 高等学校長 様

学校名

校長氏名



志願者氏名 _____ 平成 年 月 日生

志願学科（コース等）名 _____

上記の志願者について、下記の理由により、特別の措置をお願いします。

記

（障害の程度（〇〇デシベル等）や日本語理解の程度及び学校の授業時に講じた措置等を具体的に記入すること。）

再学力検査受検願

令和 年 月 日

和歌山県立

高等学校長 様

学 校 名

校長氏名



下記の理由により、再学力検査を受検させていただきようお願いします。

記

受検番号	志願者氏名
理由	

----- 切取線(切り取らないで提出する。) -----

再学力検査受検許可書

令和 年 月 日

学校長 様

高等学校名

校長氏名



下記の者に、追募集と同日程で行われる再学力検査の受検を許可します。

記

受検番号

志願者氏名

定時制課程成人特別措置申請書

令和 年 月 日

和歌山県立

高等学校長 様

（ふりがな）

本人氏名（自署）

㊞

平成

年 月 日生

昭和

志願学科名

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜実施要項第1第9項により、
定時制課程成人特別措置の適用を申請します。

令和 年 月 日

学校長 様

高等学校名

校長氏名



選考結果通知書

貴校からの（特別選抜
スポーツ推薦）の出願者について、下記のとおり決定したので通知
します。

記

課程名	志願学科(コース等)名	受検番号	氏名	選考結果		備考
				合	否	

(注) 該当するものを、○で囲むこと。

「選考結果」は、合格の場合には「合」の欄に、不合格の場合には「否」の欄に○を記入すること。

入 学 願

（特別選抜出願用）

和歌山県証紙をはる。

全日制課程 2,200 円

（自分で消印しない。）

貴校龍神分校への特別選抜による入学を志願します。

なお、合格が内定された場合には、相違なく入学することを確約します。

令和 年 月 日

和歌山県立南部高等学校長 様

(ふりがな)
本人氏名 (自署)

平成 年 月 日生

(ふりがな)
保護者氏名

㊟

志 願 学 科

普 通 科

本 人	現 住 所	〒 —
	電 話 番 号	()
	学 業	令和 年 月 日 田辺市立龍神中学校 卒業見込み
保 護 者	現 住 所	〒 —
	本人との続柄	

受検番号

申 告 書

令和 年 月 日

和歌山県立和歌山北高等学校長 様

(ふりがな)
本人氏名（自署）

(ふりがな)
保護者氏名

印

令和2年度和歌山県立和歌山北高等学校スポーツ健康科学科の一般選抜における実技検査について、次のとおり申告します。

専 門 競 技 名	備 考

- (注) 1 陸上競技を希望する者については、「備考」欄に下記の検査項目から1つを選んで記入すること。(100m走、1000m走、走り幅とび、砲丸投げ)
- 2 記入しないところは斜線(／)を引くこと。
- 3 申告後の変更は認めない。
- 4 「受検番号」欄は記入しないこと。
- 5 スポーツ健康科学科を第2志望とする場合も提出すること。

受検番号

申 告 書

令和 年 月 日

和歌山県立和歌山高等学校長 様

(ふりがな)
本人氏名 (自署)(ふりがな)
保護者氏名

㊟

令和2年度和歌山県立和歌山高等学校の一般選抜におけるパーソナルプレゼンテーション（自己表現）の実施について、次のとおり申告します。

学校名			電話番号		
自宅住所			電話番号		
入学後に進みたい系列	1 教養系列	2 ビジネス系列	3 情報系列	4 保育系列	5 芸術表現系列
発表内容	国語 保健体育 社会 技術・家庭 数学 総合的な学習の時間 理科 特別活動 英語	商 業	情 報	保 育	音 楽 美 術 書 道
発表の概要 (発表の内容を具体的に 記載)					
自分で準備するもの					
準備して欲しいもの					
備 考					

- (注) 1 該当する系列名の番号を1つ○で囲むこと。
 2 発表内容について該当するものを1つ○で囲むこと。
 3 記入しないところは斜線(\\)を引くこと。
 4 申告後の変更は認めない。
 5 「受検番号」欄は記入しないこと。

受検番号

申 告 書

令和 年 月 日

和歌山県立箕島高等学校長 様

(ふりがな)
本人氏名 (自署)

(ふりがな)
保護者氏名

㊟

令和2年度和歌山県立箕島高等学校普通科（スポーツコース）の
 いて、次のとおり申告します。

〔 一般選抜 〕
〔 追募集 〕

における実技検査につ

◎ 次の専門競技のうちから1つを選び○を記入しなさい。

専 門 競 技 名					
柔 道	剣 道	空 手 道	陸上競技	硬式野球 (男子のみ)	相 撲 (男子のみ)
フェンシング	ホッケー (男子のみ)	ソフトボール	バレーボール (女子のみ)	バスケットボール	

- (注) 1 出願する選抜の方法は、該当するものを○で囲むこと。
 2 申告後の変更は認めない。
 3 「受検番号」欄は記入しないこと。
 4 普通科（スポーツコース）を第2志望とする場合も提出すること。

Ⅱ 令和２年度和歌山県立高等学校入学者選抜 (通信制課程) 実施要項

1 設置校

通信制課程を設置する県立高等学校は、次のとおりである。

- ・和歌山県立伊都中央高等学校
〒649-7203 橋本市高野口町名古曾 5 5 8
- ・和歌山県立きのくに青雲高等学校
〒640-8137 和歌山市吹上五丁目 6 - 8
- ・和歌山県立南紀高等学校
〒646-0024 田辺市学園 1 - 8 8

2 出願資格

出願することができる者は、和歌山県内に住所を有する者もしくは勤務地が和歌山県内にある者又はその他特別の事由により志願先の高等学校長が適当と認める者とし、かつ、次のいずれかに該当するものとする。ただし、科目履修生として特定の科目を履修しようとする者は、次に掲げる者以外のものであっても、相当年齢に達しており、志願先の高等学校長が該当科目を履修することができることと認められたときは、当該高等学校に出願することができる。

- (1) 中学校、義務教育学校又はこれに準ずる学校（以下「中学校」という。）を卒業又は令和２年３月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校前期課程（以下「中学校」に含める。）を修了（以下「卒業」に含める。）又は令和２年３月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における９年の課程を修了又は修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣が中学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了又は修了見込みの者
- (5) 旧青年学校本科第１学年又は旧中等学校第３学年を修了した者、その他文部科学大臣の指定した者
- (6) 保護者が就学させる義務を猶予又は免除された生徒で、文部科学大臣が別に定めるところにより、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- (7) 出願先の高等学校において、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

3 出願受付期間及び場所

出願受付期間は、次のとおりとし、それぞれ志願先の高等学校で受け付ける。ただし、出願にあたっては、志願先の高等学校に電話等で問い合わせ、必ず事前説明を受けること。

令和２年３月３日（火）から 令和２年３月31日（火）まで （土曜日、日曜日、祝日は除く。）	午前９時から午後３時まで
---	--------------

郵送の場合は、「通信制課程出願」と明記したうえ、「書留」とし、令和２年３月３日（火）から令和２年３月31日（火）までの消印のあるものに限る。

なお、出願先の高等学校長がやむを得ないと認めた場合は、令和２年４月８日（水）まで出願を受け

付けることができる。

4 出願手続

入学志願者は、次の書類等を志願先の高等学校長に提出すること。ただし、令和2年3月中学校卒業見込みの者は、在学する中学校長を経て、提出すること。

- (1) 入学願（別記第1号様式）
- (2) 令和2年度和歌山県立高等学校入学志願者調査書（以下「調査書」という。）（別記第2号様式）
平成26年3月以前の中学校卒業生については、調査書に代えて中学校卒業証明書を提出すること。

5 入学者の選抜

- (1) 出願者は、出願先高等学校長が実施する面接等を受けるものとする。なお、面接等の日時等については、出願先高等学校長が指定する。
- (2) 高等学校長は、中学校長から提出された調査書等（又はこれに相当する書類）及び面接等の結果を総合して、厳正、公平かつ適正に入学者の選抜を行うこと。

6 合格者の発表

令和2年4月7日（火）まで（第3項なお書きにより出願した者については、出願受付後10日以内）に受検者に対し通知書を発送する。

7 入学資格認定検査

第2項第7号に該当する旨の認定については、令和2年3月12日（木）に志願先の高等学校で行う。受検希望者は、令和2年3月3日（火）正午までに、志願先の高等学校長に願い出ること。

8 実施上の留意事項

- (1) 中学校長は、合格者の生徒健康診断票（歯の検査票を含む。）を令和2年4月17日（金）までに、進学先の高等学校長に提出すること。
- (2) 令和2年3月中学校卒業見込みの者以外の合格者は、和歌山県立高等学校入学者健康診断票（別記第3号様式）を令和2年4月17日（金）までに、進学先の高等学校長に提出すること。（令和2年1月1日以降に受診したものとする。）
- (3) 前各項のほか、入学者選抜に関し必要な事項は、出願先の高等学校長の定めるところによる。

入 学 願

（通信制課程出願用）

貴校通信制課程への入学を志願します。

令和 年 月 日

和歌山県立 高等学校長 様

(ふりがな)
本人氏名 (自署)

平成 年 月 日生
昭和

(ふりがな)
保護者氏名 ⑩

志 願 学 科		
本 人	現 住 所	〒 ー
	電 話 番 号	()
	学 業	令和 年 月 日 平成 昭和 卒業見込み 学校 卒業
	卒業後の状況	
保 護 者	現 住 所	〒 ー
	本人との続柄	

令和2年度和歌山県立高等学校入学志願者調査書

受検番号	
------	--

記入責任者氏名

志 願 者				各 教 科 等 の 学 習 の 記 録										
(ふりがな) 氏名	平成 年 月 日生			性別	教 科	観点別学習状況			評 定			学年	総合的な学習の時間の記録	
						観 点	学 年		学 年					
						1	2	3	1	2	3			
現住所				国語	①							1		
					②									
					③									
					④									
					⑤									
卒業 令和 年 月 日 卒業見込み 平成 年 月 日 卒業				社会	①						2			
編入学 令和 年 月 日 編入学 平成 年 月 日 転入学					②									
					③									
					④									
欠 席 等 の 状 況				数学	①						3			
区分 学年	欠席 日数	備 考			②									
					③									
④														
1				理科	①						特別活動に関する特記事項			
2					②									
3					③									
健康の状況に関する特記事項				音楽	④						校内外の活動等に関する特記事項			
					①									
					②									
					③									
総 合 所 見				美術	④						部活動等			
					①									
					②									
					③									
				保健 体育	④						ボランティア 活動等			
					①									
					②									
					③									
				技術・ 家庭	④						資格・ 特技等			
					①									
					②									
					③									
				外国語	④									
					①									
					②									
					③									
				合 計										

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

_____ 学校 校長氏名 _____ 印

Ⅲ 令和２年度和歌山県立高等学校入学志願者 調査書等の作成について

1 調査書の作成

令和２年度和歌山県立高等学校入学志願者調査書（以下「調査書」という。）のうち、「志願者」、「各教科等の学習の記録」、「欠席等の状況」、「特別活動に関する特記事項」及び「校内外の活動等に関する特記事項」欄は、「中学校生徒指導要録」の記載事項に基づき記入すること。また、「健康の状況に関する特記事項」欄は、令和２年３月中学校、義務教育学校又はこれに準ずる学校（以下「中学校」という。）卒業見込みの入学志願者に限り記入することとし、生徒健康診断票（歯の検査票を含む。）の記載事項に基づき記入するほか、次の事項に留意して作成すること。

なお、調査書の作成の期日については、令和２年２月７日（金）現在とする。

(1) 受検番号は高等学校において記入すること。

(2) 記入責任者は、原則として当該生徒の学級担任とすること。

(3) 「志願者」の欄について

ア「性別」欄は、男女の別を記入すること。

イ「生徒成績一覧表の番号」欄については、別途通知する「令和２年度和歌山県立高等学校入学者選抜に係る生徒成績一覧表の提出について」による指示に従って記入すること。

ウ「卒業」欄の卒業見込み、卒業の別は、該当するものを○で囲むこと。

エ「編入学・転入学」欄の編入学、転入学の別は、該当するものを○で囲むこと。

(4) 「各教科等の学習の記録」の欄について

ア「観点別学習状況」欄は、「中学校生徒指導要録」に記載されている評価の「A」及び「C」を記入し、「B」の場合は空欄とすること。ただし、第３学年の記入については、令和２年２月７日（金）現在における評価とすること。

なお、各教科の①、②、③、④及び⑤の欄は、文部科学省から示された「中学校生徒指導要録」の様式に記載されている順序による観点の項目とする。

イ「評定」欄について

第１・第２学年については、「中学校生徒指導要録」に記載されている各教科の５段階評定を記入すること。

また、第３学年については、令和２年２月７日（金）現在での５段階評定を記入すること。

ウ「合計」欄について

学年ごとに全教科の評定を合計して記入すること。

(5) 「総合的な学習の時間の記録」欄について

各学校において作成された評価の観点に基づき、生徒のよい点や進歩の状況などを踏まえ、生徒にどのような力が身に付いたかを文章で記載すること。

(6) 「欠席等の状況」の欄について

ア「第３学年」欄は、令和２年２月７日（金）現在で記入すること。

イ「備考」欄には、主な欠席理由とその日数について記入すること。

- (7) 「健康の状況に関する特記事項」欄について
志願者の健康の状況に関して特に配慮すべきことがある場合のみ、具体的に記入すること。
特に記入事項のない場合には、斜線を引くこと。(以下(8)、(9)も同様。)
- (8) 「特別活動に関する特記事項」欄について
顕著な特徴が見られる場合、生徒の長所に着目して、その事実について具体的に記入すること。
- (9) 「校内外の活動等に関する特記事項」の欄について
「部活動等」、「ボランティア活動等」及び「資格・特技等」に関し、その事実について具体的に記入すること。
- ア「部活動等」欄について
部活動における活動状況について、その事実について具体的に記入すること。
特に、大会名などは正式名称を記し、主催団体等も記入すること。
- [記載例]
- ・軟式野球部のエースとして、☆☆主催〇〇大会で3位入賞の原動力となる。
 - ・吹奏楽部員として□□大会(▽▽主催)に出場
 - ・◇◇市展書道部門で特選
 - ・△△主催全国絵画コンクールで銀賞
- イ「ボランティア活動等」欄について
ボランティア活動及び善行等について、その事実を具体的に記入すること。
- [記載例]
- ・養護老人ホームを定期的に訪問し、老人介護に尽くしたことにより、社会福祉団体から感謝状を受けた。
- ウ「資格・特技等」欄について
各種公的団体等によって段級位等の資格を受けた者及びそれに準ずる特技のある者について、具体的に記入すること。特に、資格等については、認定団体も記入すること。
- [記載例]
- ・柔道初段(講道館)、全珠連珠算2段、英語検定3級(日英検協会)、ギターの演奏
- (10) 「総合所見」欄について
入学者選抜及び高校教育を受けるにあたって特に配慮を要すること、並びに生徒の将来の進路に対する希望等について、生徒の優れている点や長所、進歩の状況などを積極的に評価し、総合的に記入すること。
- (11) 中学校長は、「中学校生徒指導要録」及び「生徒健康診断票」の記載事項と照合するなどして、調査書の記入事項が事実に相違ないことを確認のうえ、証明すること。

Ⅳ 他の都道府県からの高等学校入学志願者等 に関する手続について

1 他の都道府県（以下「他府県」という。）から和歌山県立高等学校を志願する者の手続について

(1) 和歌山県立高等学校全日制課程への志願者

ア 他府県から和歌山県立高等学校全日制課程に入学を志願する者で、次の（ア）～（ウ）のいずれかに該当するものは、出願にあたって、県教育委員会の許可を受けなければならない。

（ア）本人及び保護者の住所が和歌山県内にあるか、入学日までに和歌山県内に居住が確実な者

（イ）隣接他府県に居住する者で、和歌山県立高等学校以外の高等学校の所在地が著しく遠隔で、通学が困難であると認められる者

（ウ）居住する他府県の高等学校に志望する学科が設置されていない場合で、その住所から和歌山県内の高等学校に通学できる者

イ 申請手続

（ア）該当者は、和歌山県立高等学校進学許可願（以下「進学許可願」という。）（別記第1号様式）に特別事情を証明する書類を添えて、原則として令和2年1月8日（水）から令和2年1月24日（金）までに（県）学校教育局県立学校教育課長に提出しなければならない。

（イ）特別事情を証明する書類は、別表のとおりとする。

ウ 覚書等による協定区域内に在住の志願者については、上記イの申請手続は要しない。ただし、別に通知する出願手続によること。

(2) 和歌山県立高等学校全日制課程4分校及び串本古座高等学校への志願者の特例

ア 次に示す高等学校を志願する者は、前号によることなく他府県から出願することができる。

海南高等学校美里分校 有田中央高等学校清水分校

日高高等学校中津分校 南部高等学校龍神分校

串本古座高等学校（ただし、グローバルコースを希望する者に限る。）

イ 特例による入学者数

各校の募集定員に対する割合は次のとおりとする。

学 校 名	学科名	全国募集枠 (募集定員に対する割合)
海南高等学校美里分校	普通科	10 %程度
有田中央高等学校清水分校	普通科	10 %程度
日高高等学校中津分校	普通科	30 %程度
南部高等学校龍神分校	普通科	10 %程度
串本古座高等学校	普通科	10 %程度

ウ 申請手続

該当者は、証明書（別記第2号様式）を出願時の提出書類に添付し、志願先の高等学校長に提出すること。

(3) 和歌山県立高等学校定時制課程への志願者

他府県から和歌山県立高等学校定時制課程に入学を志願する者は、和歌山県内に居住又は勤務す

ることを証明する資料（事業主雇用証明書等）を入学願提出時に添付し、志願先の高等学校長の許可を受けなければならない。

2 海外から和歌山県立高等学校を志願する者の手続について

海外に居住し、和歌山県立高等学校に入学を志願する者は、入学日までに和歌山県内に居住が確実であり、県教育委員会の許可を受けた者でなければならない。

なお、特別な事由により、保護者と和歌山県内に居住できない場合は、その旨の許可も受けること。

該当者は、次に示す書類を、原則として令和2年1月8日（水）から令和2年1月24日（金）までに（県）学校教育局県立学校教育課長に提出しなければならない。

- (1) 進学許可願（別記第1号様式）
- (2) 海外に居住することを証明する書類（日本大使館や総領事館発行の在留証明書等）
- (3) 特別事情を証明する書類（別表及びその他県教育委員会が求めた書類）

3 留意事項

- (1) 別記様式については、（県）学校教育局県立学校教育課において交付する。
- (2) 申請時に係る書類等の提出にあたっては、次のことに留意するものとする。
 - ア 申請時に係る書類等は、保護者又はこれに代わる者が直接持参又は郵送するものとする。
 - イ 審査結果の連絡のため、返信用封筒（長形3号に宛先を明記し、特定記録郵便で返信のため、254円切手をはることを）を必ず添付するものとする。
- (3) 許可された申請者には、進学許可願の写しに許可印を押印して返還するので、志願先高等学校に入学願を提出する際に必ず添付すること。
- (4) 申請期間以後の保護者の転勤等、特別な事情が生じた場合は、（県）学校教育局県立学校教育課長と協議することができる。
- (5) 他府県からの志願者に関わって中学校長から高等学校長に提出する調査書等については、「I 令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜（全日制課程・定時制課程）実施要項」第1第6項によるものとする。

<参考> 他府県の公立高等学校を志願する者の手続について

- (1) 本県内中学校卒業者（令和2年3月卒業見込みの者を含む。）で他府県の公立高等学校に入学を志願する者は、当該他府県（市町村）教育委員会（以下「志願先府県等」という。）が指定する様式による申請書を、志願先府県等に提出しなければならない。

なお、それぞれの志願先府県等の規定について、あらかじめ問い合わせるなど、期日に遅れることのないよう留意すること。
- (2) 前号の事情具申のため、本県に願出を必要とする場合は、志願先府県等に対する願出を（県）学校教育局県立学校教育課長に提出するものとする。

別表（第1項、第2項関係）

特別事情の内容		必 要 書 類
1	転住による場合	(1) 現住所の住民票謄本 (2) 次のいずれかの書類 ア 公営住宅、公社社宅等の場合は、入居決定通知書（写） 又は転住できることの住宅管理者の証明等 イ 借家の場合は、家主との賃貸契約書（写）等 ウ 家屋新築の場合は、建築確認申請書（許可印押印のもの） （写）及び建築工事施工契約書（写） エ 家屋購入の場合は、売買契約書（写）等 オ 保護者の転勤等による転住の場合は、転勤先の転勤証明 又はこれに代わる営業許可書（写）等
2	両親が別居しており、和歌山県内にいる親と同居する場合	(1) 現在同居している親の住民票謄本と和歌山県内の親の住民票謄本 (2) 両親と本人の続柄がわかる戸籍抄本又は記載事項証明書
3	養子縁組による場合	(1) 養子縁組が証明される戸籍抄本もしくは記載事項証明書 又は家庭裁判所の許可証明書 (2) 実父母又は養親の住民票謄本
4	両親と死別等のため、和歌山県内の両親以外の者と同居する場合	(1) 両親、親族等と本人との続柄のわかる戸籍謄本、戸籍抄本 又は記載事項証明書 (2) 本人及び本人と同居する親族等の住民票謄本
5	前記1～4以外で、特別の事情のある場合	前記1～4の必要書類の例に準じて、客観的に事情を証明する書類

(注) 上記1～4については、いずれも(1)及び(2)の書類を添付すること。

別記第1号様式（第1項、第2項関係）
（表）

和歌山県立高等学校進学許可願

令和 年 月 日

和歌山県教育委員会教育長 様

（ふりがな）
本人氏名（自署）

平成 年 月 日生

（ふりがな）
保護者氏名 ㊟

和歌山県立高等学校へ進学したいので、許可くださるよう関係書類を添えてお願いします。

記

1 本人の現住所

2 保護者の現住所

（連絡先 TEL（ ） — ）

3 本人と保護者との続柄

4 出身又は在籍学校名

別記第1号様式（第1項、第2項関係）

（裏）

5 特別事情に関する説明（和歌山県に在住する理由等がわかるように具体的に書くこと。）

・進学後の住所

6 学校長等副申

令和 年 月 日

学 校 名

校 長 氏 名

印

上記の願いについては、その事情が正当なものと認めます。

令和 年 月 日

和歌山県教育委員会

教 育 長

印

証 明 書

令和 年 月 日

和歌山県立 高等学校長 様

学校名 _____

校長氏名 _____ 印

下記の者は、令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜における志願にあたっては、
貴校以外のいかなる公立高等学校にも出願しないことを証明します。

記

(ふりがな)
1 志願者氏名

2 生年月日 平成 年 月 日

3 住 所

(注) 出願の際、志願先高等学校長に提出すること。

V 和歌山県立高等学校入学者選抜学力検査等に 係る帰国生徒取扱い

1 定義

「帰国生徒」とは、日本国籍を有する者で、海外に所在する機関、事業所等に勤務するか又は海外において研究・研修を行うこと等を目的として日本を出国し、海外に在留していた者又は現在なお在留している者の子供等で、原則として引き続き2年を超える期間海外に在留していた子供をいう。

2 取扱い

(1) 上記の帰国生徒にあたる者で、本人のもつ能力が十分発揮されていないと考えられる相当の根拠のあるものについては、次のいずれかの手続きを行うこと。

ア 日本の中学校を卒業した者又は在籍している者については、出身中学校長が、協議書（別記第1号様式）を作成し、志願先の高等学校長宛て親展で原則として令和2年2月14日（金）までに提出すること。

イ 現在海外に在留している者については、保護者が、協議書（別記第1号様式）を作成し、志願先の高等学校長宛て親展で原則として令和2年2月14日（金）までに提出すること。

(2) 高等学校長は、出身中学校長又は保護者からの協議書を検討したうえで、受検協議書（別記第2号様式）を作成し、（県）学校教育局県立学校教育課長宛てに、原則として令和2年2月21日（金）までに提出すること。

(3) （県）学校教育局県立学校教育課長が承認した場合、当該高等学校長は、入学者選抜学力検査の成績等を勘案し、募集定員を超えて入学を許可することができる。

3 対象者

帰国した日から原則として2年以内に和歌山県立高等学校入学者選抜に係る学力検査等を受検する帰国生徒に適用する。

令和2年度和歌山県立高等学校入学志願者協議書

令和 年 月 日

和歌山県立 高等学校長 様

学 校 名 _____

校 長 氏 名 _____ 

(ふりがな)
志願者氏名

平成 年 月 日生

志願学科（コース等）名

上記の者を、下記の理由により「和歌山県立高等学校入学者選抜学力検査等に係る
帰国生徒取扱い」に基づく受検生として承認して下さるようお願いします。

記

（本人のもつ能力が十分発揮されていないと考えられる理由、指導措置及び現在の状況等を記入すること。）

令和2年度和歌山県立高等学校入学志願者受検協議書

令和 年 月 日

（県） 学校教育局県立学校教育課長 様

高等学校名 _____

校長氏名 _____ 

(ふりがな)
志願者氏名

平成 年 月 日生

出身学校名

志願学科（コース等）名

上記の者を、下記の理由により「和歌山県立高等学校入学者選抜学力検査等に係る帰国生徒取扱い」に基づく受検生として承認してよろしいか、お伺いします。

記

（本人のもつ能力が十分発揮されていないと考えられる理由、指導措置及び現在の状況等を記入すること。）

VI 和歌山県立高等学校入学者選抜学力検査得点 の簡易開示について

和歌山県個人情報保護条例（平成14年和歌山県条例第66号）第25条に基づく、開示請求の特例に関する事務取扱要領（平成15年5月26日 教育長決定）により、次のとおり実施する。

1 開示する内容

- (1) 一般選抜における学力検査の教科別得点及び合計得点
- (2) スポーツ推薦における学力検査の教科別得点及び合計得点
- (3) 追募集及び再学力検査における学力検査の得点

2 開示請求できる者

受検者本人

3 開示請求の受付期間及び受付時間

- (1) 受付期間
合格発表の翌日から起算して1月間
- (2) 受付時間
全日制課程は午前9時から午後4時まで、定時制課程は午後2時から午後6時まで。ただし、土曜日、日曜日、祝日及び学校の休日を除く。
なお、電話又は郵送による開示請求は受け付けない。

4 開示請求及び開示の場所

受検した県立高等学校

5 本人確認のため提示を求める書類

- (1) 受検票
- (2) 本人であることを確認できるもの（生徒証、健康保険証、住民票等）

6 開示方法

請求を受けた高等学校長は、受検者本人であることを確認したうえ、請求のあった個人情報を、開示する内容を転記した書面の交付により即時に開示する。

Ⅶ 別 表

(別表 1 ~ 7)

(その1)

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜選考基準

(全日制)

学校名	学科名 (コース等)	求める生徒像	割合					
			調査書		学力検査		面接・実技検査等	
			割合	傾斜 評価	割合	傾斜 配点	割合	内容
橋本	普通科	進路への明確な目標を持ち、本校において文武両道の実現を目指し、何事にも積極的に取り組み態度を身に付けており、意欲的で向学心の旺盛な生徒を募集します。	40%		60%			
	◇普通科(県立中)							
紀北工業	機械科	「ものづくり」に興味があり、特に機械に関する分野に関心をもち、真面目で積極的に取り組み生徒を募集します。	40%		60%			
	電気科	電気に興味・関心を強く持ち、真面目で意欲的に取り組み生徒を募集します。	40%		60%			
	システム化学科	職業資格・化学研究・情報分野に興味・関心を強く持ち、真面目で意欲的に取り組み生徒を募集します。	40%		60%			
	生産流通科	農産物を利用した加工品の製造や流通のシステムに興味を持ち、自ら学習や実習に取り組み、地域に貢献しようとする意欲に満ちた生徒を募集します。	30%		40%		30%	面
紀北農芸	施設園芸科	園芸作物の栽培、植物の機能や仕組みに興味を持ち、積極的に学習や実習に取り組み、農業関連産業に貢献しようとする意欲に満ちた生徒を募集します。	30%		40%		30%	面
	環境工学科	機械コースでは環境に配慮した「ものづくり」、土木コースでは自然に優しく快適な環境の創造に興味を持ち、積極的に学習や実習に取り組み、意欲に満ちた生徒を募集します。	30%		40%		30%	面
	普通科	学習意欲が高く、自らの進路目標に意欲的に取り組み、学習活動、部活動、ボランティア活動などに積極的に取り組み生徒を募集します。	40%		50%		10%	面
笠田	総合ビジネス科	商業の基礎・基本から専門的な知識・技能の習得まで幅広く学習します。検定や資格の取得を目指しながら、学習活動、部活動、ボランティア活動などに積極的に取り組み生徒を募集します。	50%		40%		10%	面
	情報処理科	商業科目の学習をベースに、情報をより総合的に処理する能力の育成を目指します。検定や資格の取得を目指しながら、学習活動、部活動、ボランティア活動などに積極的に取り組み生徒を募集します。	50%		40%		10%	面

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜選考基準

(全日制)

学校名	学科名 (コース等)	求める生徒像	割合					
			調査書		学力検査		面接・実技検査等	
			割合	傾斜 評価	割合	傾斜 配点		割合
粉河	普通科	基本的な生活習慣が確立しており、学習、特別活動、学校行事等何事にも意欲的に取り組み、それを将来に生かせる生徒を募集します。	30%		70%			
	理数科		30%		70%	数1.5 英1.5		
那賀	普通科	学習意欲が高く、積極的に目標に向かい、自ら学び鍛える生徒を募集します。また、学校行事や部活動等にも意欲的に励み、地域や社会に貢献する生徒を望みます。	40%		60%			
	国際科		40%		60%	国1.5 英1.5		
貴志川	普通科	生活態度・学習態度が良好で、部活動などにも意欲的に励み、積極的に学習に取り組む生徒を募集します。	30%		50%		20%	面
	人間科学科		30%		60%	最も高い 1教科 2.0	10%	面
和歌山北	普通科(北校舎)	自らの進路目標に基づき、積極的に学んでいこうという意欲がある生徒や、文化部、体育部活動や学習活動、生徒会活動等で優れた実績やリーダー性を有し、入学後も活動する意志がある生徒を募集します。	50%		50%			※1
	普通科(西校舎)		50%		50%			※1
和歌山	スポーツ健康科学科	学習意欲が高く、生涯を通してスポーツの発展に貢献できる生徒を望みます。また、体育部活動において顕著な実績があり、実技検査で受検した競技の運動部に所属し、3年間活動する生徒を募集します。	30%		30%		40%	面・実
	総合学科		30%		40%		30%	面・PP
向陽	普通科	意欲的に学ぶ姿勢と明確な進路目標を持ち、その実現のために積極的に努力する生徒を募集します。また、生徒会活動、部活動、奉仕活動等で優れた実績を持ち、入学後も活発に活動する生徒を望みます。	30%		70%	国1.5 数1.5 英1.5		
	◇環境科学科							

※1) 和歌山北高等学校スポーツ健康科学科(スポーツコース)を第2志望とする者は、各学科(コース)が実施する面接・実技検査等を受けること。

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜選考基準

(全日制)

学校名	学科名 (コース等)	求める生徒像	割合					
			調査書		学力検査		面接・実技検査等	
			割合	傾斜 評価	割合	傾斜 配点	割合	内容
桐 蔭	普通科	将来社会において理系や文系のトップリーダーとして活躍する意欲を有し、「文武両道」を校訓とする本校において自らの個性と資質能力を伸ばそうとする生徒を募集します。	30%		70%			
	◇普通科 (県立中)							
和 歌 山	普通科	基本的な生活習慣や基礎学力が身に付いており、積極的に自らの進路目標に向かって学ぼうとする意志のある生徒を募集します。また、生徒会活動や部活動など特別活動に積極的に取り組もうとする意欲ある生徒を望みます。	40%		40%		20%	面
	普通科	学習意欲が高く、自らの進路目標に基づき、積極的に学んでいこうという意欲がある生徒を募集します。	30%		70%			
星 林	国際交流科	学習意欲が高く、国際理解教育に興味・関心のある生徒を募集します。	30%		70%			
	機械科	工作機械の操作や設計・製図など、「ものづくり」の知識や技術を習得し、興味・関心を持って意欲的に取り組む生徒を募集します。	40%		60%		数1.3 理1.3	
和 歌 山 工 業	電気科	電気・電子及び情報通信の分野に興味があり、将来その方面で活躍したい意欲的な生徒を募集します。	40%		60%		数1.3 理1.3	
	化学技術科	化学に興味・関心があり、専門的知識や技術を学ぶ高い意識と「環境にやさしいものづくり」に取り組もうとする意欲的な生徒を募集します。	40%		60%		数1.3 理1.3	
和 歌 山 工 業	建築科	建築に興味があり、建築物についての設計・設備、工事の進め方等について意欲的に学ぼうとする生徒を募集します。	40%		60%		数1.3 理1.3	
	土木科	道路、橋、防波堤、空港、上下水道などを建設する土木の学習に興味を持ち、人々の生活の向上に役立ちたいと思っている生徒を募集します。	40%		60%		数1.3 理1.3	
和 歌 山 工 業	産業デザイン科	デザイン全般についての知識・技能、「ものづくり」に興味・関心があり、意欲的に学ぼうとする生徒を募集します。	40%		60%		数1.3 理1.3	
	創造技術科	「ものづくり」に必要な知識・技術を学び、創意工夫をこらし、新しい時代に対応した「ものづくり」に挑戦しようとする意欲ある生徒を募集します。	40%		60%		数1.3 理1.3	

令和2年度和歌山県立高等学校入学選抜選考基準

(全日制)

学校名	学科名 (コース等)	求める生徒像	割合					
			調査書		学力検査		面接・実技検査等	
			割合	傾斜 評価	割合	傾斜 配点	割合	内容
和歌山商業	ビジネス創造科	ビジネスに関する諸活動に興味・関心があり、資格取得や専門的な学習に意欲的に取り組み、将来の進路の実現に向けて努力する生徒を募集します。また、入学後も生徒会活動・部活動等に活発に取り組む生徒を望みます。	40%		60%			
	普通科 (海南校舎)	学習意欲が高く、本学科の学習内容に興味・関心、適性があり、入学後も積極的に学んでいこうとする意志が明確である生徒を募集します。	30%		70%			
海南	教養理学科	学習意欲が高く、本学科の学習内容、特に理数系科目に興味・関心、適性があり、入学後も積極的に学んでいこうとする意志が明確である生徒を募集します。	30%		70%	教1.5 理1.5		
	普通科 (大成校舎)	卒業後の進路に具体的な目標を持ち、大成校舎の教育課程を理解し、積極的に学習に取り組む生徒を募集します。	40%		40%		20%	面
(美里分校)	普通科	本校の特色ある学習活動を理解し、入学後も積極的に学んでいこうという強い意志を持った生徒を募集します。	30%		40%		30%	面
箕島	普通科 (普通)	勉学・部活動に励み、自らの進路実現に向け積極的に取り組む生徒を募集します。	40%		60%			※1
	普通科 (スポーツ)	スポーツ専門種目に優れた能力を有し、3年間部活動を継続し、意欲的に運動能力を高め、学習にも積極的に取り組む生徒を募集します。	30%		30%		40%	実
	情報経営科	ビジネスの仕組みやコンピュータ操作に興味・関心があり、何事にも積極的に取り組むことのできる生徒を募集します。	50%		50%			※1
	機械科	機械に興味・関心があり、「ものづくり」に意欲的に取り組むことのできる生徒を募集します。	50%		50%			※1
有田中央	総合学科 (総合)	総合学科の学びについて理解し、本校での学習に対する興味・関心・意欲が高く、生徒会活動や部活動等にも実績を有し、高校生活に前向きに取り組む生徒を募集します。	35%		35%		30%	面
	総合学科 (福祉)	福祉に関する興味・関心が高く、介護福祉士を目指し、3年間しつかりと意欲的に取り組む強い意志のある生徒を募集します。	30%		40%		30%	面
(清水分校)	普通科	学校内外でのさまざまな活動に主体的に取り組む、学習成績が良好であり、自らの進路目標に基づき、積極的に学んでいこうという意欲がある生徒を募集します。	40%		60%			
耐	普通科	学習意欲が高く、本校の学習内容や教育活動に興味・関心を持ち、進路実現にむけて積極的に取り組む生徒を募集します。	40%		60%			

※1) 和歌山北高等学校スポーツ健康科学科、箕島高等学校普通科(スポーツコース)を第2志望とする者は、各学科(コース)が実施する面接・実技検査等を受けること。

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜選考基準

(全日制)

学校名	学科名 (コース等)	求める生徒像	割合					
			調査書		学力検査		面接・実技検査等	
			割合	傾斜 評価	割合	傾斜 配点	割合	内容
日高	普通科	学習意欲が高く、自己の進路目標実現に向けて、さまざまな活動に向上心を持って取り組む生徒を募集します。	30%		70%			
(中津分校)	◇総合科学科							
紀央館	普通科	学習意欲が高く、本学の学習内容に興味・関心、適性があり、入学後も課外活動や特別活動等に積極的に取り組んでいこうとする意欲、意志が明確である生徒を募集します。	30%		50%		20%	面・作
	普通科	人々に信頼され、地域に貢献できる社会人となるため、文理、ビジネスの各系列で、意欲的に学習に取り組む生徒を募集します。	30%		70%			
	工業技術科	人々に信頼され、地域に貢献できる社会人となるため、機械、電気の専門分野で、意欲的に学習に取り組む生徒を募集します。	30%		70%			
南	普通科	学習意欲に満ち、自らの進路目標達成のために、何事にも意欲的・積極的に取り組める生徒を募集します。	30%		70%			
	食と農園科	地域産業に興味・関心があり、農業、食品加工、食文化について専門的に学ぶ強い意志を持ち、実習や学習に積極的に取り組む生徒を募集します。	30%		50%		20%	面
	普通科	本校の特色ある教育内容をよく理解し、入学後も学習や部活動に励み、自らの進路実現に向け積極的に取り組む生徒を募集します。	30%		50%		20%	面
田辺	普通科	学習成績が良好であり、様々な学習活動に積極的に取り組む意欲がある生徒を募集します。	30%		70%			
田辺工業	◇自然科学科							
	機械科	「ものづくり」の中心である機械の基本的な知識と技術を学び、誠実・勤勉で創造性豊かな工業人を目指す生徒を募集します。	50%		50%			
	電気電子科	電気に関連する分野に幅広く興味を持ち、知識・技術の習得及び各種資格の取得に意欲的な生徒を募集します。	50%		50%			
	情報システム科	コンピュータに関連する情報技術を学び、将来IT産業で活躍する希望を持ち、専門分野での学習に意欲的に取り組む生徒を募集します。	50%		50%			

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜選考基準

(全日制)

学校名	学科名 (コース等)	求める生徒像	割合					
			調査書		学力検査		面接・実技検査等	
			割合	傾斜 評価	割合	傾斜 配点	割合	内容
神 島	普通科	本校に入学する強い意志を持ち、常に向上心を持って、将来の進路に向けて学習に取り組む生徒を募集します。	40%		60%			
	経営科学科		40%		60%			
熊 野	看護科	志望動機や意欲・関心が明確であり、看護師を目指して5年間しっかりと学習に取り組む意志のある生徒。	30%		70%			
	総合学科		40%		60%			
串 本 古 座	普通科	1. 基本的な生活習慣及び基礎学力が身に付いており、入学後に学習活動、クラブ活動、ボランティア活動、地域への貢献活動などに意欲的に取り組む生徒。 2. 自らの視野を広げ、将来のあり方生き方を考え、自己の進路を積極的に切り拓こうとする生徒。 以上のよう な生徒を募集します。	40%		60%			
新 宮	普通科	本校で学びたいという強い意志を持ち、積極的に学習や部活動に取り組む、将来、大学進学等の進路実現を目指して自己の可能性に挑戦しようとする生徒を募集します。	30%		70%	国1.5 数1.5 英1.5		
新 翔	総合学科	総合学科の特徴を十分に理解した上で、各系列の学習に興味・関心を持ち、その学習に取り組むとともに自己の進路実現に向かって努力する生徒や、部活動・生徒会活動等に積極的に取り組む生徒を募集します。	30%		60%		10%	面

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜選考基準

(定時制)

学校名	学科名 (コース等)	求める生徒像	割合					
			調査書		学力検査		面接・実技検査等	
			割合	傾斜評価	割合	傾斜配点		
伊都中央	普通科(昼間)	自分が学びたいことを柔軟に学ぶことができる本校の「新たな学びのシステム」を理解し、一人一人の進路実現や興味・関心に合わせた多様な学びを通して、互いに鍛え合い、支え合い、学び合う態度を身に付けたい生徒を募集します。	30%		40%		30%	面
	普通科(夜間)		30%		30%		40%	面・作
粉河	普通科(夜間)	学習意欲に富み、勤労と学校生活を両立できる生徒を募集します。	30%		30%		40%	面
	普通科(昼間)		30%		30%		40%	面
きのくに青雲	普通科(夜間)	お互いを大切にし、目的意識を持って真面目に学校生活に取り組み生徒を募集します。	30%		30%		40%	面
	情報会計科(夜間)		30%		30%		40%	面
和歌山工業	機械電気科(夜間)	機械や電気に関することに興味があり、基礎的な知識を学び、技術者・技能者としての心構えを身に付けようとする意欲のある生徒を募集します。	30%		30%		40%	面・作
	建築科(夜間)		30%		30%		40%	面・作
海南	普通科(夜間)	自ら学ぶ強い意志を持って、新しい時代をたくましく生き、郷土を愛する心豊かな社会人を目指す生徒を募集します。	30%		30%		40%	面・作
	普通科(夜間)		30%		30%		40%	面
日高	普通科(夜間)	積極的に学び、規律正しく真面目な態度で学校生活を過ごそうとする意識を有し、基本的な生活習慣が身に付いている生徒を募集します。	30%		30%		40%	面・作
	普通科(夜間)		30%		30%		40%	面
新宮	普通科(夜間)	学習意欲があり生活態度が真面目で、基本的な生活習慣が身に付いている生徒を募集します。	40%		40%		20%	面
	普通科(夜間)		40%		40%		20%	面

・割合は、一般選抜募集枠に対する割合を示す。

・傾斜評価、傾斜配点内の「国」「数」等は「国語」「数学」等を表し、その横の数字は、それぞれに対する倍率を表している。

・面接・実技等の「面」「作」「実」「PP」はそれぞれ「面接」「作文」「実技検査」「パーソナルプレゼンテーション」を表す。面接・実技検査等の詳細は別表2に示す。

※1) 和歌山北高等学校スポーツ健康科学科、箕島高等学校普通科(スポーツコース)を第2志望とする者は、各学科(コース)が実施する面接・実技検査等を受けること。

(注)◇を付した学科については、それぞれの県立中学校からの進学者のみとし、県立高等学校入学者選抜による募集は行わない。

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜の面接・実技検査等

1 注意事項

- (1) 体育に関する実技検査を受検する者は、事前に医師の健康診断を受ける等、体育実技受検に支障のないよう健康管理に特に留意すること。
- (2) 体育に関する実技検査を受検する者は、体育実技のできる軽快な服装（各中学校指定の体操服等）、体育館用及び屋外用の運動靴を準備すること。
- (3) 所持品管理のためのバッグ等を持参すること。
- (4) 面接・実技検査等に関する問い合わせは、実施校にすること。

2 一般選抜における面接・実技検査等の内容

【全日制】

学校名	学科名	面接・実技検査等	備考	
紀北農	生産流通科	個人面接（口頭による検査を含む。）を7分程度実施する。		
	施設園芸科	個人面接（口頭による検査を含む。）を7分程度実施する。		
	環境工学科	個人面接（口頭による検査を含む。）を7分程度実施する。		
	普通科	個人面接を3分程度実施する。		
笠田	総合ビジネス科	個人面接を3分程度実施する。		
	情報処理科	個人面接を3分程度実施する。		
	普通科	個人面接を5分程度実施する。		
貴志川	人間科学科	個人面接を5分程度実施する。		
		個人面接を5分程度実施する。		
和歌山北ススポーツ健康科学科	共通実技	個人面接を5分程度実施する。 ① 50m走（雨天時は10m走） ② ハンドボール投げ（雨天時はバスケットボール投げ） ③ 握力測定	申告書提出	
		陸上競技	① 立ち幅とび ② 100m走、1000m走、走り幅とび、砲丸投げ（中学生用砲丸）から1種目選択	②のみ 競技用シューズ可
		体操	① マット運動 ② 柔軟性及び筋力テスト	
	専門実技	水泳（競泳）	① 50m専門種目 ② 200m個人メドレー	
		バスケットボール	① ドリブルシュート ② ミニゲーム（2対2）	
		バレーボール	① 対人レシーブ ② スパイク	
		ソフトテニス	① 乱打（サーブからストローク） ② 前衛（スマッシュ・ボレー） 後衛1本打ち（ペースラインからストローク）	

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜の面接・実技検査等

(その2)

学校名	学科名	面接・実技検査等		備考
和歌山北	スポーツ健康科学科	サッカー	① 8の字ドリブル ② ミニゲーム	
		レスリング	① フットワーク ② タックル	
		自転車	① 自転車エルゴメーターによる筋力測定(最大無酸素パワー測定) ② 自転車エルゴメーターによる筋力測定(有酸素運動能力測定)	
		フェンシング	① フットワーク ② 突き	
		専門実技	① パンテイング(雨天時は素振り) ② スロインング・キャッチング(雨天時はキャッチボール)	
		ボート	① ローイングエルゴメーターによる基本動作 ② ローイングエルゴメーターによる測定	
		柔道	① 得意技によるかかり練習(打ち込み) ② 得意技による投げ込み	
		剣道	① 基本技能 ② 切り返し	
		ラグビーフットボール(男子のみ)	① パス ② 1000m走(雨天時は筋力テスト)	
		服装・携行品	専門実技に限り、必要となる服装(靴を含む。)や用具の使用を認めるので、使用希望者は、各自持参すること。ただし、共通実技でのスパイク等の使用は認めない。	
		パーソナルブレゼンションでは、本校入学後、どの系列で学び、自己を伸ばそうとするのかを、中学校で取り組んだ内容を基に、自分の個性・能力・技術・意欲等を各自工夫した方法で発表する。なお、発表時間は、下記の1、2をあわせて10分程度とする。 1 自己PRを含むパーソナルブレゼンテーション(5分～7分以内) ※実技・作品・研究・体験等の発表 ※準備及び後片付けの時間を含めて5分～7分以内とする。 2 「希望する系列を選んだ理由」と「その系列でどのようなことを学びたいか」について必ず発表する。	申告書提出	
和歌山	総合学科	1 教養系列	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <input type="radio"/> 国語・社会 <input type="radio"/> 保健体育 <input type="radio"/> 総合的な学習の時間 <input type="radio"/> 特別活動 </div> <div> 数学 理科 英語 </div> </div> <p>「教養系列を選んだ理由」と「系列でどのようなことを学びたいか」の両方について発表する。さらに、「将来、どのような進路を希望しているのか」その理由や将来の夢について発表する。 ※暗唱、英語によるスピーチ、自分で設定した内容についての研究・実験・調査・体験発表。 ※資料(写真・図・冊子等)及び作品を利用した発表でもよい。</p>	
		2 ビジネス系列	「ビジネス系列を選んだ理由」と「系列でどのようなことを学びたいか」の両方について発表する。 ※自分で設定した内容についての体験・研究・調査発表。 ※資料(写真・図・冊子等)及び作品を利用した発表でもよい。	
		3 情報系列	「情報系列を選んだ理由」と「系列でどのようなことを学びたいか」の両方について発表する。さらに、「10年後に発表される情報機器の新機能」を自由に想像して、それを発表する。 ※資料(写真・図・冊子等)を利用した発表でもよい。	

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜の面接・実技検査等

(その3)

学校名	学科名	面接・実技検査等	備考
和歌山総合学科	4 保育系列	<p>○ 保育 「保育系列を選んだ理由」と「系列でどのようなことを学びたいか」の両方について発表する。 ※幼児原触れ合い体験等の発表をしてもよい。 ※資料（写真・図・冊子等）及び作品を利用した発表でもよい。 ※実技披露をする場合は、エブロンシッター、ペープサート、弾き歌い、絵本読み聞かせ（絵本は自作のものに限る）の中から行う。</p> <p>○ 音楽 「芸術表現（音楽）系列を選んだ理由」と「系列でどのようなことを学びたいか」の両方について発表する。 ①楽器演奏、歌唱の発表（暗譜に限る） ※演奏、歌唱については、独奏、独唱に限る。なお、トランペット等の単旋律楽器や歌では主旋律（メロディ）を演奏すること。 ②作曲作品の発表 ※自作の楽譜を持参して演奏すること。 ③研究発表 ※音楽理論や、音楽史及び楽曲分析等について発表する。</p> <p>※①②において、ピアノ、クラシックギター、マリンバ、シロフォン、スネアを演奏する時は実施校の楽器を使用できる。また、楽器を置くための机は実施校が準備するが、マレット、スティック等は持参すること。 ※電子楽器（エレキギター、エレキトーン等）、ドラムセットを使用している演奏はできない。 ※発表にはチューニングの時間を含む。</p>	<p>実技披露例 鍵盤楽器（ピアノ） 管楽器（フルート、クラリネット等） 弦楽器（ギター、バイオリン等） 打楽器（マリンバ、スネア等） 和楽器（琴、三味線等） 声楽、作曲、伝統芸能</p>
	5 芸術表現系列	<p>○ 美術 「芸術表現（美術）系列を選んだ理由」と「系列でどのようなことを学びたいか」の両方について発表する。また、制作した作品についても発表する。 ※中学生時代の作品を3点以上持参する。</p> <p>○ 書道 「芸術表現（書道）系列を選んだ理由」と「系列でどのようなことを学びたいか」の両方について発表する。また、制作した作品についても発表する。 ※中学生時代の作品を3点以上持参する。</p>	<p>水彩画、油彩画、イラストレーション、ポスター、素描（デッサン）、版画、彫刻、焼き物、工芸、CG作品等 毛筆・硬筆作品</p>
和歌山東普通科	注意事項	<p>1 パソコンナルプレゼンテーション時は、原稿を見て読む発表はできない。見やすさや分かりやすさにも注意して、まとめたものを見せるなど工夫すること。 2 実技披露できる系列は保育、芸術表現（音楽）の2系列とする。 3 パソコンナルプレゼンテーションで使用した資料や作品は提出する必要はない。 4 情報端末（スマートフォン、タブレット等）、パソコン、プロジェクターは使用できない。 5 映像機器、電子楽器は使用できない。 6 マグネットや小物等は各自持参すること。 7 本校で準備してほしい楽器、机、黒板等は必ず申告書に記入すること。（検査教室によっては黒板ではなくホワイトボードの場合がある。） 8 受検生の間の物の貸し借りはできない。</p>	
	個人面接を10分程度実施する。		

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜の面接・実技検査等

(その4)

学校名	学科名	面接・実技検査等		備考	
海 (美里分校)	普通科(大成校舎) 普通科	3人程度の集団面接を15分程度実施する。			
		個人面接を10分程度実施する。			
		次の11競技から1競技選択し、各競技とも共通実技と専門実技のすべての種目を実施する。		申告書提出	
		競技名	共通実技	専門実技	
		ソフトボール	50m走、反復横とび	① キャッチボール ② ティーバットティング (雨天時は体育館で実施)	
		ホッケー (男子のみ)		① ドリブルシュート ② ボールリフティング (雨天時は体育館で実施)	
		剣道		① 切り返し ② 互格稽古	
		空手道		① 組手に必要な技 ② 試合形式の組手	
		硬式野球 (男子のみ)		① 7分間走 ② 腹筋 (雨天時は体育館で実施)	
		バレーボール (女子のみ)		① パス ② サーブ	
フェンシング	① フットワーク ② ターゲット突き				
陸上競技	① 50mバウンディング ② メディシンボール投げ (雨天時は体育館で実施)				
バスケットボール	① ドリブルシュート ② パス				
柔道 相撲 (男子のみ)	① 打ち込み ② 投げ込み ① 四股 ② 押し				
服装・携行品：各専門種目に応じ、必要となる服装(靴を含む。)や用具の使用を認めるので、使用希望者は、各自持参すること。					
有田中央	総合学科(総合)	個人面接を5分～7分程度実施する。			
	総合学科(福祉)	個人面接を5分～7分程度実施する。			
日(中津分校)	高普通科	50分で800字程度の作文と、個人面接を7分程度実施する。			

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜の面接・実技検査等

(その5)

学校名	学科名	面接・実技検査等	備考
南	部 食と農園科	個人面接を5分程度実施する。	
(龍 神 分 校)	普通科	個人面接を10分程度実施する。	
新	翔 総合学科	4人程度の集団面接を10分程度実施する。	

【定時制】

学校名	学科名	面接・実技検査等	備考
伊 都 中	普通科(昼間)	個人面接を10分程度実施する。	
	普通科(夜間)	個人面接を10分程度実施する。	
粉	普通科(夜間)	50分で6000字程度の作文と、個人面接を10分程度実施する。	
	普通科(昼間)	個人面接を10分程度実施する。	
さ の く に 青 雲	普通科(夜間)	個人面接を10分程度実施する。	
	情報会計科(夜間)	個人面接を10分程度実施する。	
和 歌 山 工 業	機械電気科(夜間)	50分で6000字程度の作文と、個人面接を10分程度実施する。	
	建築科(夜間)	50分で6000字程度の作文と、個人面接を10分程度実施する。	
海 南	普通科(夜間)	50分で6000字程度の作文と、個人面接を10分程度実施する。	
	久 普通科(夜間)	個人面接を10分程度実施する。	
日 高	普通科(夜間)	50分で6000字程度の作文と、個人面接を10分程度実施する。	
	紀 普通科(昼間)	個人面接を10分程度実施する。	
南 宮	普通科(夜間)	個人面接を10分程度実施する。	
	普通科(夜間)	個人面接を10分程度実施する。	

3 追募集における実技検査の内容

【全日制】

学校名	学科名	実技検査	備考
和 歌 山	北 スポーツ健康科学科	次の3つの種目を全員に共通して実施する。 1 50m走(雨天時は10m走) 2 ハンドボール投げ(雨天時はバスケットボール投げ) 3 握力測定	
箕 高	普通科(ボーイ)	一般選抜実技検査等に準ずる。	申告書提出

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦実施校、指定競技スポーツ及び募集枠等
実施校、指定競技スポーツ及び募集枠

学 校 名	競 技 ス ポ ー ツ 名	募集枠	
		男子	女子
紀 北 工 業	剣道	3	
	レスリング	3	
	自転車	3	-
	ウェイトリフティング	3	
紀 北 農 芸	ハンドボール	5	-
笠 田	陸上競技	3	
	ソフトボール	-	5
粉 河 (普通科のみ)	ハンドボール	3	
	卓球	5	
和 歌 山 北 (普通科のみ)	陸上競技	3	
	体操	3	
	水泳(競泳)	3	
	バスケットボール	3	-
	バレーボール	3	
	ソフトテニス	5	-
	サッカー	3	-
	ソフトボール	-	3
	レスリング	5	
	自転車	3	
	フェンシング	5	
	ボート	3	
	柔道	3	-
	なぎなた	-	3
和 歌 山 東	剣道	5	
	レスリング	3	-
	フェンシング	3	
星 林	ヨット	3	
和 歌 山 工 業	陸上競技	3	-
	バスケットボール	3	-
	卓球	3	-
	サッカー	3	-
	ラグビーフットボール	5	-
	剣道	5	
	レスリング	3	-
	ボクシング	3	-
	ウェイトリフティング	3	-
	バレーボール	3	-
	ヨット	3	
和 歌 山 商 業	陸上競技	3	
	バレーボール	-	3
	卓球	3	
	相撲	3	
箕 島	バレーボール	-	3
	ソフトボール	3	-
	相撲	5	-
	柔道	3	
	剣道	3	
	ホッケー	3	-
	空手道	5	
	フェンシング	3	
	陸上競技	3	
紀 央 館	柔道	3	
	ホッケー	3	
	陸上競技	3	
熊 野 (総合学科のみ)	ソフトボール	-	3
	バレーボール	-	3
	ラグビーフットボール	3	-
	柔道	3	
	空手道	5	
陸上競技	3		

計 12校 59競技スポーツ

(注) 募集枠欄の「3」は3名程度、「5」は5名程度とする。ただし、複数の学科がある場合は、すべての学科を合わせたものとし、和歌山北高等学校普通科は、北校舎及び西校舎を合わせたものとする。

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦出願条件

学校名	競技スポーツ	出 願 条 件
紀北工業	剣道	特別活動及び校内外の活動等において優れた点が見られ、学習意欲が旺盛で生活態度が良好であること。また、入学後も指定競技スポーツにおいてリーダーとしての活動が期待でき、3年間継続して活動する意志のある者。
	レスリング	
	自転車	
	ウエイトリフティング	
紀北農芸	ハンドボール	本校のハンドボール部において、3年間継続して活動する意欲のある者で、次の(1)～(4)のいずれかの条件を満たす者。ただし、スポーツの競技名は問わない。 (1) 中学単独チームとして、県大会以上の大会においてレギュラーポジションで活躍した者。 (2) 個人競技として、県大会以上に出場して活躍した者。 (3) 郡選抜・市選抜で県大会以上、又は県選抜で近畿大会以上の大会に出場した者。 (4) 上記(1)～(3)に該当しないが、当該中学校長がそれに準ずると判断した者。
笠田	陸上競技	当該競技スポーツに係る優れた運動能力と技術を有し、3年間継続して活動する強い意志を持ち、さらに、希望する学科で学ぶ基礎学力を有する者。
	ソフトボール	
粉河 (普通科)	ハンドボール	当該競技スポーツにおいて優れた能力を有し、3年間継続して学習と部活動の両立を実践する意欲のある者。
	卓球	
和歌山北 (普通科)	陸上競技	全国大会、近畿大会やそれに準ずる大会に出場した実績を有するなど、当該競技スポーツにおいて優れた資質・能力を有し、3年間継続して活動する意欲のある者。
	体操	
	水泳(競泳)	競泳競技において個人種目で近畿大会以上の出場経験を持つ者、又は、優れた能力を持ち将来性の感じられる生徒で、3年間継続して活動する意欲のある者。
	バスケットボール	全国大会、近畿大会やそれに準ずる大会に出場した実績を有するなど、当該競技スポーツにおいて優れた能力を有し、3年間継続して活動する意欲のある者。
	バレーボール	
	ソフトテニス	県の代表として全国大会やそれに準ずる大会に出場した実績を有するなど、当該競技スポーツにおいて、優れた能力を有し、3年間継続して活動する意欲のある者。
	サッカー	
	ソフトボール	当該競技スポーツにおいて優れた能力を有し、3年間継続して活動する意欲のある者。
	レスリング	当該競技スポーツの潜在的能力を有し、将来、全国大会で活躍することを目標として、3年間継続して活動する意欲のある者。
	自転車	
	フェンシング	
	ボート	
柔道		
なぎなた		
和歌山東	剣道	優れた技術・運動能力を有し、入学後も指定競技スポーツにおいてリーダーとしての活動が期待でき、3年間継続して活動する意欲のある者。
	レスリング	
	フェンシング	
星林	ヨット	当該競技スポーツに高い関心を持ち、優れた能力を有し、3年間継続して学習と部活動の両立を実践する意欲のある者。
和歌山工業	陸上競技	当該競技スポーツにおいて優れた能力を有し、3年間継続して活動する意欲のある者。
	バスケットボール	当該競技スポーツの優れた能力を有し、3年間真面目に取り組む意欲のある者。
	卓球	全国大会やブロック大会に出場した生徒。又は、それに準ずる能力を有すると判断できる生徒で、3年間継続して活動する意欲のある者。
	サッカー	当該競技スポーツの優れた能力を有し、3年間継続して活動する意欲のある者。
	ラグビーフットボール	当該競技スポーツにおいて優れた能力を有し、3年間継続して活動する意欲があり、リーダーとしての活動が期待できる者。
	剣道	当該競技スポーツにおいて優れた能力を有し、3年間真面目に高校生活をおくることができる者。
	レスリング	優れた技術・運動能力を有し、入学後も当該競技スポーツにおいて、3年間継続して活動する意欲のある者。

学校名	競技スポーツ	出 願 条 件
和歌山工業	ボクシング	優れた技術、運動能力を有し、当該競技スポーツにおいて3年間継続して真面目に取り組む意欲のある者。
	ウエイトリフティング	当該競技スポーツにおいて、県大会に出場経験がある者、又はそれに準ずる優れた能力を有する者。かつ、当該競技スポーツにおいて3年間高い向上心を持ち、継続して活動する意欲のある者。
	バレーボール	当該競技スポーツの優れた能力を有し、3年間継続して真面目に取り組む意欲のある者。
	ヨット	当該競技スポーツに高い関心を持ち、優れた能力を有し、3年間継続して真面目に取り組む意欲のある者。
和歌山商業	陸上競技	運動部活動において顕著な実績があるか、又は優れた技術・運動能力を有する者。当該競技スポーツにおいて3年間継続して活動する意欲のある者。また、競技活動のみならず学習意欲を持ち、勉学との両立を目指し自己の成長に努める者。
	バレーボール	県の代表として、全国大会・近畿大会及びそれに準ずる大会に出場もしくは実績を残すなど、当該競技スポーツの優れた能力を有し、3年間継続して活動する意欲のある者。また、学習意欲を持ち、学習と部活動との両立を目指し自己の成長に努める者。
	卓球	団体戦か個人戦において全国大会かブロック大会に出場した者、又はそれに準ずる優れた能力を有する者。当該競技スポーツにおいて、3年間継続して活動する意欲のある者。また、学習意欲を持ち、学習と部活動との両立を目指し、自己の成長に努める者。
	相撲	当該競技スポーツに適性があり、3年間継続して活動する意欲のある者。また、本校入学後は、競技活動のみに限らず学習意欲を持ち勉学との両立を目指し、自己の成長に努める者。
箕 島	バレーボール	優れた運動能力を有し、当該競技スポーツにおいて3年間継続して活動を行い、全国大会やそれに準ずる大会への出場を目指す意欲のある者。
	ソフトボール	優れた運動能力を有し、当該競技スポーツにおいて3年間継続して活動する意欲のある者。
	相撲	当該競技スポーツに適性があり、3年間継続して活動する意欲のある者。
	柔道	県の代表として、全国大会やそれに準ずる大会に出場した実績を有するなど、当該競技スポーツにおいて優れた能力を有するとともに、3年間継続して活動する意欲のある者。
	剣道	当該競技スポーツに適性があり、3年間継続して活動する意欲のある者。県大会で、個人又は団体戦で入賞したことがある者、二段を取得している者、あるいは同等以上の競技力を有する者。
	ホッケー	優れた運動能力を有し、当該競技スポーツにおいて3年間継続して活動する意欲のある者。
	空手道	県の代表として、全国大会やそれに準ずる大会に出場した実績を有する者。又は、当該競技スポーツに適性があり、3年間継続して活動する意欲のある者。
	フェンシング	優れた運動能力を有し、当該競技スポーツにおいて3年間継続して活動を行い、全国大会やそれに準ずる大会への出場を目指す意欲のある者。
紀 央 館	陸上競技	県大会、又はそれに準ずる大会において優れた実績を有し、人物的にも優秀であること。また、当該競技スポーツにおいて3年間継続して活動する意欲のある者。
	柔道	県大会、又はそれに準ずる大会の個人、団体戦において優れた実績を有し、人物的にも優秀であること。また、当該競技スポーツにおいて3年間継続して活動する意欲のある者。
	ホッケー	人物的に優れ、ホッケーに興味があり、ホッケー競技に必要な運動能力を有するとともに3年間継続して活動する意欲のある者。
熊 野 (総合学科)	ソフトボール	当該競技スポーツにおいて顕著な実績がある者。又は、優れた技術、運動能力を有するとともにリーダーとしての活動が期待できる者。ただし、いずれも3年間継続して活動する意欲のある者とする。さらに、当該学科において学ぶ基礎学力を有する者。
	バレーボール	
	ラグビーフットボール	
	柔道	
	空手道	
	陸上競技	

(その1)

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦におけるスポーツ実技検査等

1 注意事項

- (1) 事前に医師の健康診断を受ける等、体育実技受験に支障のないよう健康管理に特に留意すること。
- (2) 体育実技のできる軽快な服装（各中学校指定の体操服等）、体育館用及び屋外用の運動靴を準備すること。
- (3) 所持品管理のためのバッグ等を持参すること。
- (4) 実技検査等に関する問い合わせは、実施校にすること。

2 実技検査等

学校名	競技スポーツ名	性別	検査項目		備考	
			共通実技	種目別実技		
紀北工業	剣道			① 切り返し ② 立ち合い稽古	剣道防具一式 竹刀	
	レスリング		① 50m走 (雨天時は反復横とび) ② ハンドボール投げ (雨天時は握力測定)	① マット運動 (前転・後転) ② タックル	面接を実施	
	自転車	男子のみ		① 固定ローラー ② 800m走 (雨天時は腕立て伏せ)		面接を実施
	ウエイトリフティング			① ハイクリーン ② スクワット		面接を実施
紀北農芸	ハンドボール	男子のみ	① フリーアープ ② ハンドボール投げ ③ 反復横とび	① パス〜キヤッチ ② パスゲーム (ボディバランス)	面接を実施	
	陸上競技		① 50m走 (雨天時は反復横とび) ② ハンドボール投げ (雨天時は握力測定)	① 立ち幅とび (荒天時は体育館で実施) ② 100m走、1000m走、砲丸投げから1種目選択 (荒天時、100m走及び1000m走を希望した者は体育館で代替種目を実施)	面接を実施	
	ソフトボール	女子のみ		① 守備 (投手はピッチングを含む) ② 打撃 (バントを含む) (荒天時は体育館で実施)	専用のグラブ、バット、スパイクは使用可能	面接を実施
粉(普通科)	ハンドボール		① 50m走 (雨天時は体育館で20mシャトルランを実施) ② 反復横とび	① ドリブルシュート ② パスキヤッチ (雨天時は体育館で実施)	面接を実施	
	卓球			① フォアハンドドライブ・ツッツキ・フットワーク ② サープ・レシーブを含んだゲーム形式	面接を実施	
和歌山(普通科)	陸上競技		① 50m走 (雨天時は10m走) ② ハンドボール投げ (雨天時はバスケットボール投げ) ③ 握力測定	① 立ち幅とび ② 100m走、1000m走、走り幅とび、砲丸投げから1種目選択	②のみ 競技用シューズ可	面接を実施
	体操			① マット運動 ② 柔軟性及び筋力テスト		面接を実施
	水泳(競泳)			① 50m専門種目 ② 200m個人メドレー		面接を実施
	バスケットボール	男子のみ		① ドリブルシュート ② ミニゲーム (2対2)		面接を実施

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦におけるスポーツ実技検査等

(その2)

学校名	競技スポーツ名	性別	検査項目		準備物	備考
			共通実技	種目別実技		
和歌山県立高等学校 (普通科)	バレーボール			① 対人レシーブ ② スマイク		面接を実施
	ソフトテニス	男子のみ		① 乱打(サーブからストローク) ② 前衛(スマッシュ・ボレー) 後衛(1本打ち)		面接を実施
	サッカー	男子のみ		① 8の字ドリブル ② ミニゲーム		面接を実施
	ソフトボール	女子のみ	① 50m走 (雨天時は10m走) ② ハンドボール投げ (雨天時はバスケットボール 投げ) ③ 握力測定	① バッティング(雨天時は素振り) ② スローイング・キャッチング(雨天時はキャッチボール)		面接を実施
	レスリング			① フットワーク ② タックル		面接を実施
	自転車			① 自転車エルゴメーターによる筋力測定(最大無酸素パワー測定) ② 自転車エルゴメーターによる筋力測定(有酸素運動能力測定)		面接を実施
	フェンシング			① フットワーク ② 突きのテスト		面接を実施
	ボート			① ローイングエルゴメーターによる基本動作 ② ローイングエルゴメーターによる測定		面接を実施
	柔道	男子のみ		① 得意技によるかかり練習(打ち込み) ② 得意技による投げ込み		面接を実施
	なぎなた	女子のみ		① 基本動作・基本打突 ② 応用技・試合		面接を実施
和歌山県立 星林高等学校	剣道			① 素振り(上下・正面・跳躍) ② 切り返し、基本技能(面、小手、小手一面、胴)、掛かり稽古	剣道防具一式 竹刀	面接を実施
	レスリング	男子のみ	① 50m走 (雨天時は立ち幅とび)	① 反復横とび ② 上体起こし		面接を実施
	フェンシング			① 反復横とび ② 突きの動作		面接を実施
	ヨット		① 50m走 ② ハンドボール投げ	① バランステスト(雨天時は体育館で実施) 男子1500m走、女子1000m走 (雨天時は体育館で一部を実施)		面接を実施
和歌山工業 高等学校	陸上競技	男子のみ	① 50m走 ② 立ち幅とび	① 立ち五段とび(雨天時は垂直とび) ② 助走付き30m走(トップスピードを測定)、1000m走、 砲丸投げから1種目選択(雨天時は20mシャトルラン)		面接を実施
	バスケットボール	男子のみ	① シャトルラン ② 反復横とび	① ドリブル(1対1の政防) ② シュート		面接を実施
	卓球	男子のみ	① 立ち幅とび ② 反復横とび	① ラリー等(フォアハンド・バックハンド) ② ゲーム		面接を実施
	サッカー	男子のみ	① 50m走 ② 反復横とび	① パス&コントロール ② 1000m走 (雨天時は体育館で一部を実施)		面接を実施

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦におけるスポーツ実技検査等

(その3)

学校名	競技スポーツ名	性別	検査項目		準備物	備考
			共通実技	種目別実技		
和歌山工業	ラグビーフットボール	男子のみ	① 50m走 ② 立ち幅とび	① ランニングパス ② ミニゲーム (雨天時は体育館で実施)		面接を実施
	剣道		① 50m走 ② 反復横とび	① 切り返し ② 基本技(面・小手・胴)、応じ技(面・小手) ③ 立ち会い稽古	剣道防具一式 竹刀	面接を実施
	レスリング	男子のみ		① マット運動 ② タックル		面接を実施
	ボクシング	男子のみ	① 1500m持久走 ② 50m走	① シャドーパーボクシング(2分×2ラウンド) ② 縄とび(3分×2ラウンド)		面接を実施
	ウエイトリフティング	男子のみ	① 50m走 ② 立ち幅とび	① デッドリフト ② スクワット ③ プレス		面接を実施
	バレーボール	男子のみ		① レシーブ(パス&対人レシーブ) ② サーブ ③ スパイク		面接を実施
	ヨット			① 20mシャトルラン ② 閉眼片足立ち、斜懸垂、膝伸展腹筋		面接を実施
	陸上競技			① 100m走、1000m走、砲丸投げから1種目選択 (雨天時は体育館で、100m走を希望した者は30m走、 1000m走を希望した者はシャトルラン、砲丸投げを 希望した者はメデイシニングボールバック投げを実施)	アップシューズ スパイク(自由)	
	バレーボール	女子のみ	① 50m走 ② 反復横とび	① パス ② スパイク		
	卓球			① サーブレシーブ ② 試合形式(シングルス)		
和歌山商業	相撲		① 握力測定 ② 長座体前屈	① 押し及びぶつかり稽古 ② 練習試合(相撲をとる) (雨天時も同様)		
	バレーボール	女子のみ		① パス ② サーブ	バレーボールシューズ	
	ソフトボール	男子のみ	① 50m走 ② 反復横とび	① キャッチボール ② ティーパーティンダ (雨天時は体育館で実施)		
	相撲	男子のみ	① 握力測定 ② 長座体前屈	① 四股30回 ② 押し5本		まわし
	相撲					
箕	相撲					
	相撲					

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦におけるスポーツ実技検査等

(その4)

学校名	競技スポーツ名	性別	検査項目		準備物	備考
			共通実技	種目別実技		
箕 島	柔道		① 握力測定 ② 長座体前屈	① 打ち込み ② 投げ込み	柔道着	
	剣道		① 50m走 ② 反復横とび	① 切り返し ② 互格稽古	剣道防具一式 竹刀	
	ホッケー	男子のみ		① ドリブルシュート ② ボールリフティング (雨天時は体育館で実施)		
	空手道		① 50m走 ② 反復横とび	① 組手に必要な技を出させる ② 試合形式の組手	試合用防具一式	
	フェンシング			① フットワーク ② ターゲット突き		
	陸上競技			① 反復横とび ② 立ち幅とび	① 100m走、1000m走、走り幅とび、砲丸投げから1種目選択 (雨天時は体育館で代替種目等を実施) ② 背筋力測定	専用シューズ使用可
紀 央 館	柔道		① 反復横とび ② 握力測定	① 受け身 ② 打ち込み (得意とする投げ技を実施) ③ 固め技 (得意とする固め技を実施)	柔道着	面接を実施
	ホッケー		① 50m走 ② 反復横とび	① ドリブルシュート ② ボールリフティングと様々なストローク (雨天時は体育館で一部を実施)		面接を実施
	ソフトボール	女子のみ		① キャッチボール ② 捕球またはピッチング ③ ロングテイク (雨天時は講堂で実施)		面接を実施
熊 野 (総 合 学 科)	バレーボール	女子のみ		① サープ、パス ② 対人レシーブ ③ スパイク、トス、スパイクレシーブから1種目選択		面接を実施
	ラグビーフットボール	男子のみ	① 反復横とび ② 立ち幅とび	① 20m走、握力測定より1種目選択 ② タックル、パス、キックより1種目選択 (雨天時は体育館で実施)		面接を実施
	柔道			① 打ち込み、投げ込み ② 寝技	柔道着	面接を実施
	空手道			① 基本技 ② 打ち込み		面接を実施
	陸上競技			① 50m走 ② 100m走、1000m走、走り幅とび、砲丸投げから1種目選択 (雨天時は体育館で実施)		面接を実施

(注) 性別の空欄は、男子と女子を問わない募集を表す。

令和 2 年度連携型中高一貫教育校の特別選抜実施方法等

学校名	実施方法	備 考
南 部 (龍神分校)	面接、作文	<p>1 面接 10分程度の個人面接</p> <p>2 作文：600字程度、50分</p> <p>※ 作文の内容については、事前に次の3項目について中学校へ提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校生活に関すること ・自分の将来に関すること ・高校生活に関すること <p>特別選抜当日、上記3項目の中から2項目についてそれぞれ具体的な作文項目を提示する。</p> <p>受検生はその2つの項目から1つを選択し、作文にまとめる。</p>

(その1)

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜の学校別実施概要（追募集）

(全日制)

学校名	学科名 (コース等)	追 募 集 検 査 内 容				
		学力 検査	面接	作文又は小論文		実技
橋 本	普通科	○	○			
	普通科 (県立中)					
紀 北 工 業	機械科	○	○			
	電気科	○	○			
	システム化学科	○	○			
紀 北 農 芸	生産流通科	○	○	作文	50分	600字程度
	施設園芸科	○	○	作文	50分	600字程度
	環境工学科	○	○	作文	50分	600字程度
笠 田	普通科	○	○			
	総合ビジネス科	○	○			
	情報処理科	○	○			
粉 河	普通科	○	○			
	理数科	○	○			
那 賀	普通科	○	○			
	国際科	○	○			
貴 志 川	普通科	○	○			
	人間科学科	○	○			
和 歌 山 北	普通科 (北校舎)	○	○			
	普通科 (西校舎)	○	○			
	スポーツ健康科学科	○	○			運動能力に関する基礎実技(注)
和 歌 山	総合学科	○	○			
向 陽	普通科	○	○	作文	20分	400字程度
	環境科学科					
桐 蔭	普通科	○	○	作文	30分	600字程度
	普通科 (県立中)					
和 歌 山 東	普通科	○	○			
星 林	普通科	○	○			
	国際交流科	○	○			
和 歌 山 工 業	機械科	○	○			
	電気科	○	○			
	化学技術科	○	○			
	建築科	○	○			
	土木科	○	○			
	産業デザイン科	○	○			
	創造技術科	○	○			
和 歌 山 商 業	ビジネス創造科	○	○			
海 南	普通科 (海南校舎)	○	○			
	教養理学科	○	○			
	普通科 (大成校舎)	○	○			
(美里分校)	普通科	○	○	作文	30分	300字程度
箕 島	普通科 (普通)	○	○			
	普通科 (スポーツ)	○	○			運動能力検査(注)
	情報経営科	○	○			
	機械科	○	○			
有 田 中 央	総合学科 (総合)	○	○			
	総合学科 (福祉)	○	○			
(清水分校)	普通科	○	○			

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜の学校別実施概要（追募集）

(全日制)

学校名	学科名 (コース等)	追 募 集					
		検 査 内 容					
		学力 検査	面接	作文又は小論文			実技
耐 久	普通科	○	○	作文	30分	600字程度	
日 高	普通科	○	○				
(中津分校)	総合科学科						
	普通科	○	○	作文	50分	800字程度	
紀 央 館	普通科	○	○				
	工業技術科	○	○				
南 部	普通科	○	○	作文	50分	800字程度	
	食と農園科	○	○	作文	50分	800字程度	
(龍神分校)	普通科	○	○	作文	50分	600字程度	
田 辺	普通科	○	○				
	自然科学科						
田 辺 工 業	機械科	○	○				
	電気電子科	○	○				
	情報システム科	○	○				
神 島	普通科	○	○				
	経営科学科	○	○				
熊 野	看護科	○	○				
	総合学科	○	○				
串 本 古 座	普通科	○	○				
新 宮	普通科	○	○				
新 翔	総合学科	○	○				

(定時制)

学校名	学科名 (コース等)	追 募 集					
		検 査 内 容					
		学力 検査	面接	作文又は小論文			実技
伊 都 中 央	普通科(昼間)	○	○	作文	50分	600字程度	
	普通科(夜間)						
粉 河	普通科(夜間)	○	○	作文	50分	600字程度	
きのくに青雲	普通科(昼間)	○	○				
	普通科(夜間)						
	情報会計科(夜間)						
和 歌 山 工 業	機械電気科(夜間)	○	○	作文	50分	600字程度	
	建築科(夜間)	○	○	作文	50分	600字程度	
海 南	普通科(夜間)	○	○	作文	40分	400字程度	
耐 久	普通科(夜間)	○	○	作文	50分	600字程度	
日 高	普通科(夜間)	○	○	作文	50分	600字程度	
南 紀	普通科(昼間)	○	○	作文	40分	600字程度	
	普通科(夜間)						
新 宮	普通科(夜間)	○	○				

(注)和歌山北高等学校スポーツ健康科学科、箕島高等学校普通科(スポーツコース)を志望する者(第2志望とする者も含む。)は、それぞれ別表2の実技検査を受けること。

令和2年度和歌山県立高等学校入学者選抜日程表

1 全日制課程・定時制課程

(1) 特別選抜

事 項	期 日 (期 限)
出 願 受 付	令和2年2月4日(火) 午後3時まで
面 接 等	令和2年2月7日(金)
合格内定通知	令和2年2月14日(金) 午前10時

(2) 一般選抜・スポーツ推薦

事 項	期 日 (期 限)
一般出願受付	令和2年2月21日(金) 午後4時まで 2月25日(火) 午後3時まで
本出願受付	令和2年3月3日(火) 午後4時まで 3月4日(水) 午後3時まで
学力検査等	令和2年3月10日(火)
面接・実技検査等	令和2年3月11日(水)
合格発表	令和2年3月18日(水) 午前10時

(3) 追募集

事 項	期 日 (期 限)
出 願 受 付	令和2年3月24日(火) 午後4時まで
学力検査等	令和2年3月26日(木)
合格発表	令和2年3月30日(月) 午前10時

(4) 再学力検査

事 項	期 日 (期 限)
届 出 受 付	令和2年3月17日(火) 正午まで
学力検査等	令和2年3月26日(木)
合格発表	令和2年3月30日(月) 午前10時

2 通信制課程

事 項	期 日 (期 限)
出 願 受 付	令和2年3月3日(火)～3月31日(火)午後3時まで
	(出願前に電話等で問い合わせること) やむを得ない事情と高等学校長が認めた場合は、令和2年4月8日(水)まで受付
調 査 書 等	令和2年3月3日(火)～3月31日(火)午後3時まで
	(4月以降に出願を受け付けた者については、その都度適宜提出)
合 格 発 表	令和2年4月7日(火)までに受検者に対し通知書を発送
	(4月8日まで受け付けた者については、出願受付後10日以内に通知書を発送)

3 入学資格認定検査(通信制課程を除く。)

事 項	期 日 (期 限)
出 願 受 付	令和2年1月31日(金)正午まで
認 定 検 査	令和2年2月6日(木)
結 果 通 知	検査終了後受検者に文書で通知

4 他の都道府県からの高等学校入学志願者等に関する手続

事 項	期 日 (期 限)
申 請 手 続	令和2年1月8日(水)～1月24日(金)
	申請方法、必要書類等については、(県)学校教育局県立学校教育課に電話等で問い合わせること

5 「帰国生徒」の高等学校入学志願者に関する手続

事 項	期 日 (期 限)
申 請 手 続	令和2年2月14日(金)まで(出身学校長又は保護者から志願先高等学校長に申請)
	令和2年2月21日(金)まで(志願先高等学校長から(県)学校教育局県立学校教育課長に申請)

令和2年度和歌山県立高等学校入学選抜関係日程

1 月		2 月		3 月		
日	曜	日	曜	日	曜	
1	水	元日	1	土	1	日
2	木		2	日	2	月
3	金		3	月	3	火
4	土		4	火	4	水
5	日		5	水	5	木
6	月		6	木	6	金
7	火		7	金	7	土
8	水		8	土	8	日
9	木		9	日	9	月
10	金		10	月	10	火
11	土		11	火	11	水
12	日		12	水	12	木
13	月	成人の日	13	木	13	金
14	火		14	金	14	土
15	水		15	土	15	日
16	木		16	日	16	月
17	金		17	月	17	火
18	土		18	火	18	水
19	日		19	水	19	木
20	月		20	木	20	金
21	火		21	金	21	土
22	水		22	土	22	日
23	木		23	日	23	月
24	金		24	月	24	火
25	土		25	火	25	水
26	日		26	水	26	木
27	月		27	木	27	金
28	火		28	金	28	土
29	水		29	土	29	日
30	木				30	月
31	金				31	火

〔入学者選抜実施要項についての問い合わせ先〕

和歌山県教育庁学校教育局県立学校教育課

〒640-8585 和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL (073)441-3681

FAX (073)441-3652

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500000/>



地球環境保護のために、再生紙と
ベジタブルインキを使用しています。